

— 平成30年度高知県学力定着状況調査結果の概要 —

平成31年3月
高知県教育委員会

— 目 次 —

1	調査の概要	1
2	教育事務所別調査結果	3
3	教科別調査結果	
	教科別調査結果について	5
(1)	小学校国語	6
(2)	小学校算数	10
(3)	小学校理科	14
(4)	中学校国語	17
(5)	中学校社会	21
(6)	中学校数学	25
(7)	中学校理科	29
(8)	中学校外国語（英語）	33

平成30年度高知県学力定着状況調査の概要

I. 調査の目的

学力調査等の結果から明らかとなった基礎的・基本的な知識・技能の習得やそれらを活用した思考・判断・表現する力の育成等の課題をさらに改善するために、児童生徒の学力の定着状況を把握し、学習指導の充実や指導方法の改善に生かすとともに、各学校及び各教育委員会の学力向上検証改善サイクルを確立することを目的とする。

II. 調査への参加状況

◇ 参加学校数 297校

小学校	190校
中学校	105校
義務教育学校（前期課程・後期課程）	2校

◇ 小学校解答児童数

第4学年

国語 5,315人 算数 5,315人

第5学年

国語 5,140人 算数 5,139人 理科 5,139人

◇ 中学校解答生徒数

第1学年

国語 4,180人 社会 4,180人 数学 4,180人

理科 4,183人 外国語（英語） 4,181人

第2学年

国語 4,193人 社会 4,197人 数学 4,190人

理科 4,192人 外国語（英語） 4,189人

III. 調査事項

(1) 教科

小学校第4学年…国語・算数

小学校第5学年…国語・算数・理科

中学校第1・2学年…国語・社会・数学・理科・外国語（英語）

※国語と外国語（英語）は、音声聞いて答える問題も出題

(2) 内容

基礎的・基本的な知識・技能及び思考力・判断力・表現力等をみる問題

選択式・短答式・記述式の問題形式

IV. 調査実施日

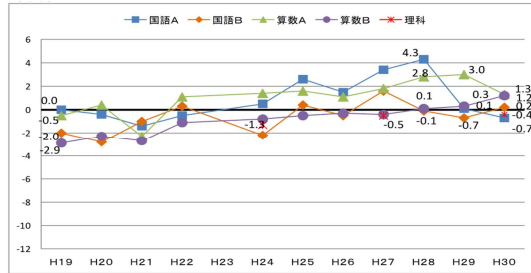
平成31年1月9日（水）



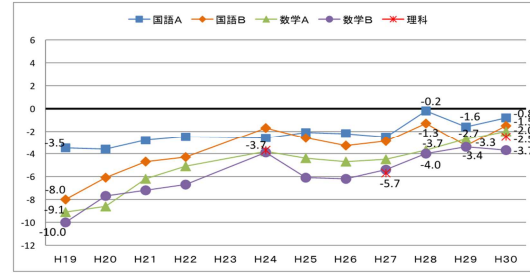
学力調査結果に見られる本県の学力の状況

I 全国学力・学習状況調査結果（平均正答率の経年変化）

小学校



中学校



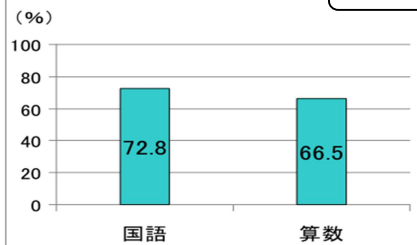
現状

- 小学校については、A問題においてやや伸び悩んでいる部分もあるが、B問題では前回と比較して伸びが見られ、全体としては全国平均の学力を身に付けている。
- 中学校については、全ての教科で全国平均を下回る結果となっているものの、前回と比較すると、全国平均との差を縮めている。なお、理科と国語Bについては前回からの伸び幅で全都道府県の中で1位となっている。算数・数学は小・中学校とも過去最高と、改善が進んでいる。

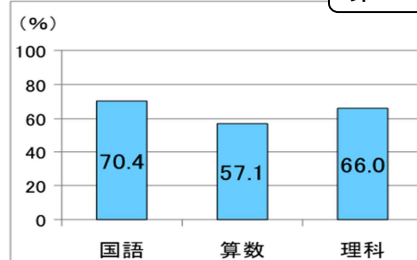
II 高知県学力定着状況調査結果（平成30年度の平均正答率）

小学校調査

第4学年

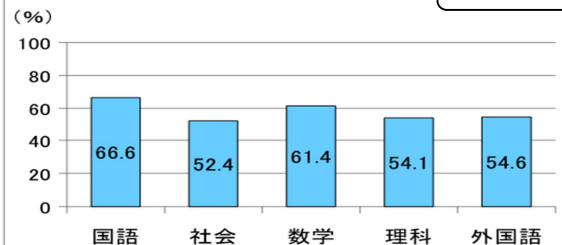


第5学年

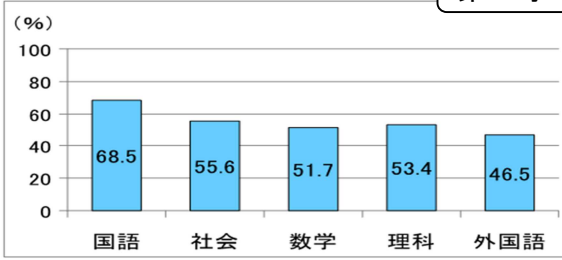


中学校調査

第1学年



第2学年



現状

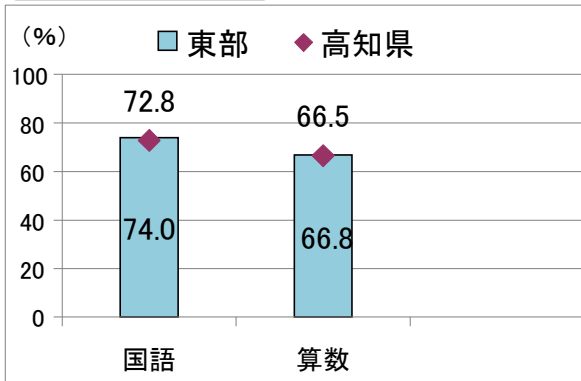
- 平成30年度の全国学力・学習状況調査や過去の本調査と同様に、基礎的・基本的な知識・技能を問う問題の正答率が高い状況にある。
- 思考力・判断力・表現力を問う問題には苦戦しており、例えば、文章・図表・グラフなどの複数の情報を関連付けて考えをまとめ、表現する力や、学んだことを使って課題の解決を図る活用する力や思考力に課題が見られる。



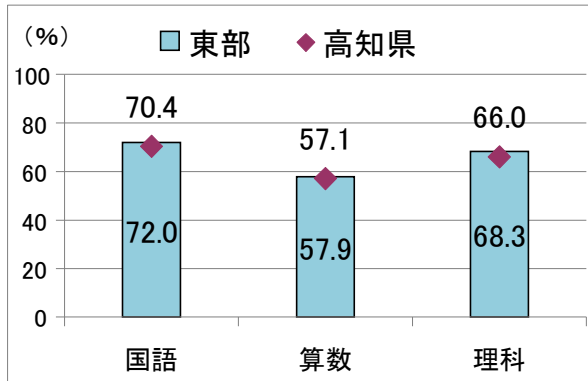
2 教育事務所別調査結果

東部教育事務所

小学校第4学年

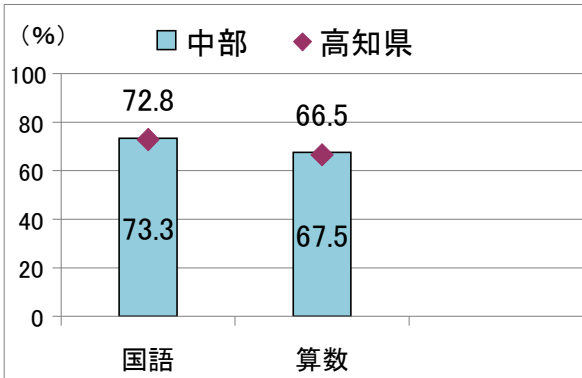


小学校第5学年

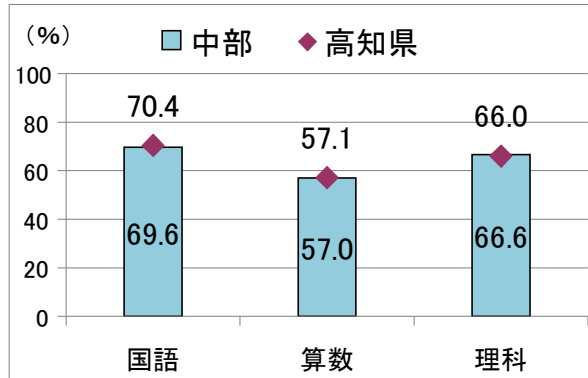


中部教育事務所

小学校第4学年

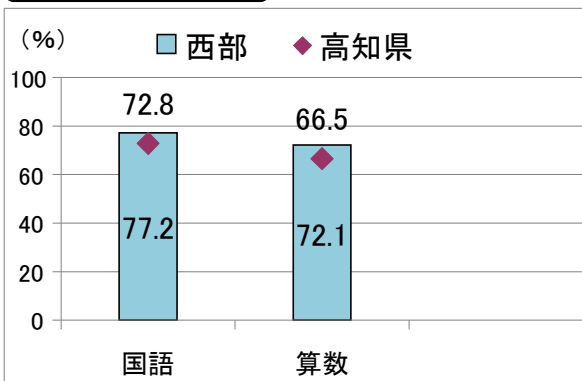


小学校第5学年

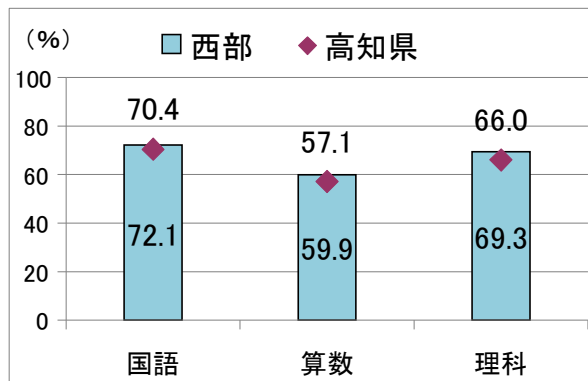


西部教育事務所

小学校第4学年

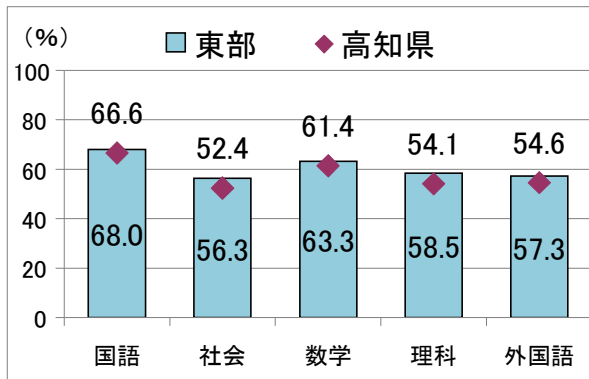


小学校第5学年

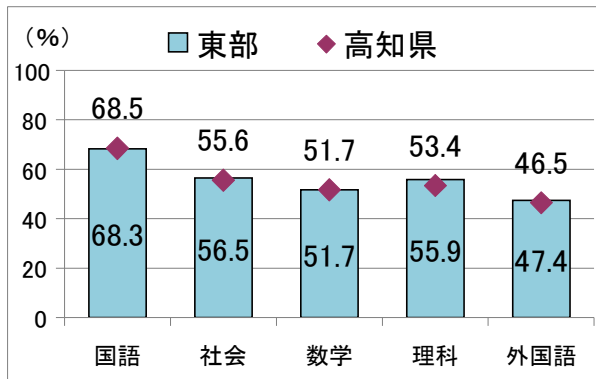


東部教育事務所

中学校第1学年

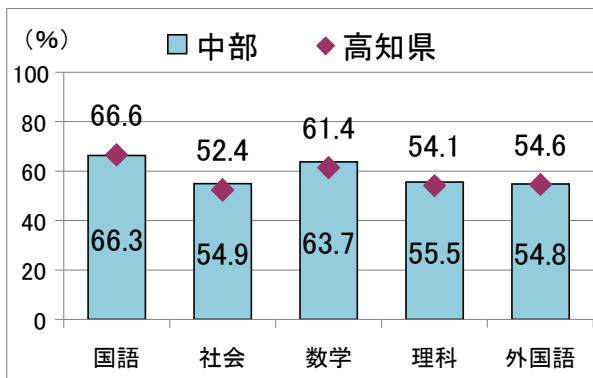


中学校第2学年

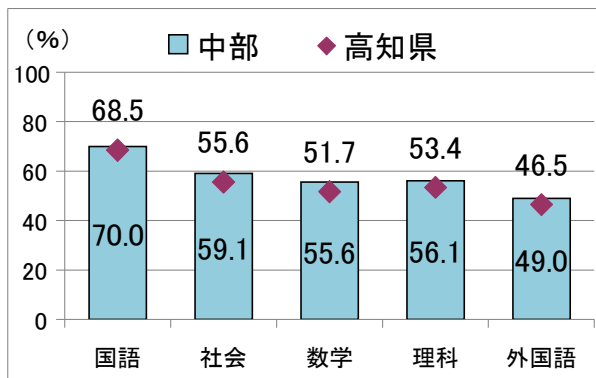


中部教育事務所

中学校第1学年

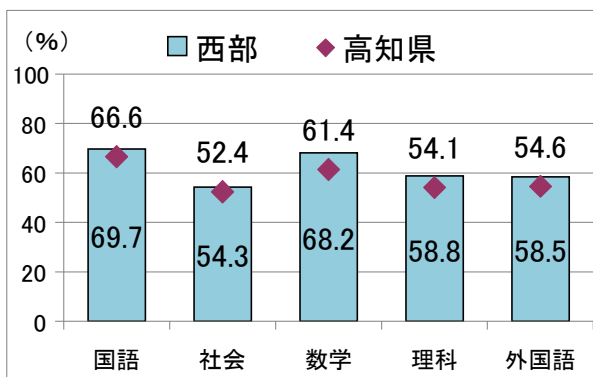


中学校第2学年

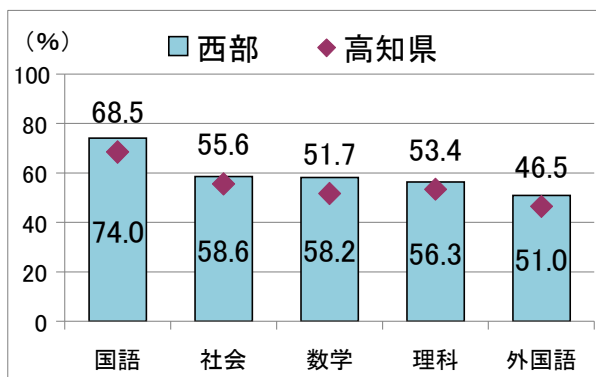


西部教育事務所

中学校第1学年



中学校第2学年



3 教科別調査結果

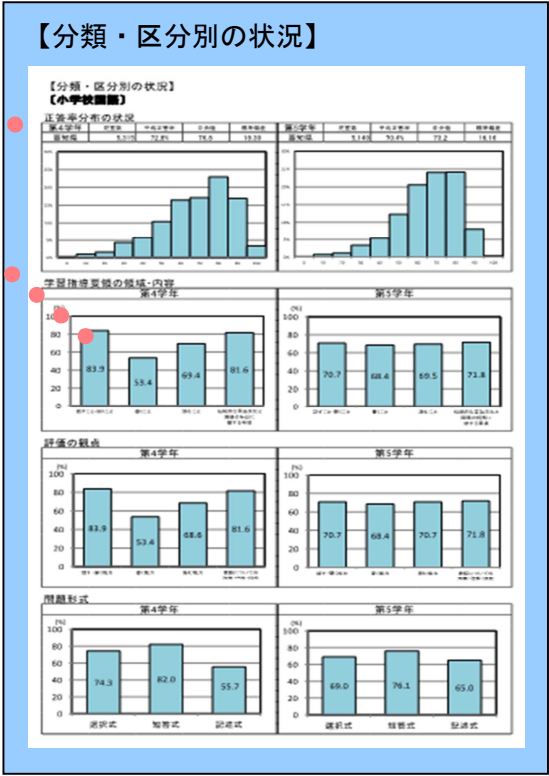
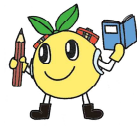
教科別調査結果について

今回の調査結果における高知県の状況について、各教科の【分類・区分別の状況】、【設問別正答率】、【成果と課題】を示していますので、各学校の分析の参考にしてください。

正答率分布グラフを示しています。

領域・内容、評価の観点、問題形式による平均正答率を示しています。

平均正答率やグラフの形状、他の数値の情報と合わせて分析してください。



【設問別正答率】

学年	設問	内容	正答率	無解答率
第○学年	110	教科書本文の中心内容を読み取り、その内容を説明することができる。	72.1%	0%
	111	教科書本文の中心内容を読み取り、その内容を説明することができる。	72.1%	0%
	112	教科書本文の中心内容を読み取り、その内容を説明することができる。	72.1%	0%

設問ごとに、高知県の正答率と無解答率を示しています。

【成果と課題】

【小学校調査】における成果と課題

学年	成果	課題
第○学年	110 98.0% 教科書本文を読み取り、その内容を説明することができる。	110 92.0% 教科書の中心内容を読み取る。
	111 98.0% 教科書本文を読み取り、その内容を説明することができる。	111 98.0% 教科書の中心内容を読み取る。
	112 98.0% 教科書本文を読み取り、その内容を説明することができる。	112 98.0% 教科書の中心内容を読み取る。
	113 98.0% 教科書本文を読み取り、その内容を説明することができる。	113 98.0% 教科書の中心内容を読み取る。

【中学校調査】における成果と課題

学年	成果	課題
第○学年	210 85.0% 教科書本文を読み取り、その内容を説明することができる。	210 18.0% 教科書本文を読み取り、その内容を説明することができる。
	211 85.0% 教科書本文を読み取り、その内容を説明することができる。	211 42.1% 教科書本文を読み取り、その内容を説明することができる。

【中学校調査】における成果と課題

【中学校調査】における成果と課題

【中学校調査】における成果と課題

【中学校調査】における成果と課題

本年度調査における注目してほしい成果と課題を示しています。

【○学校○における成果と課題】

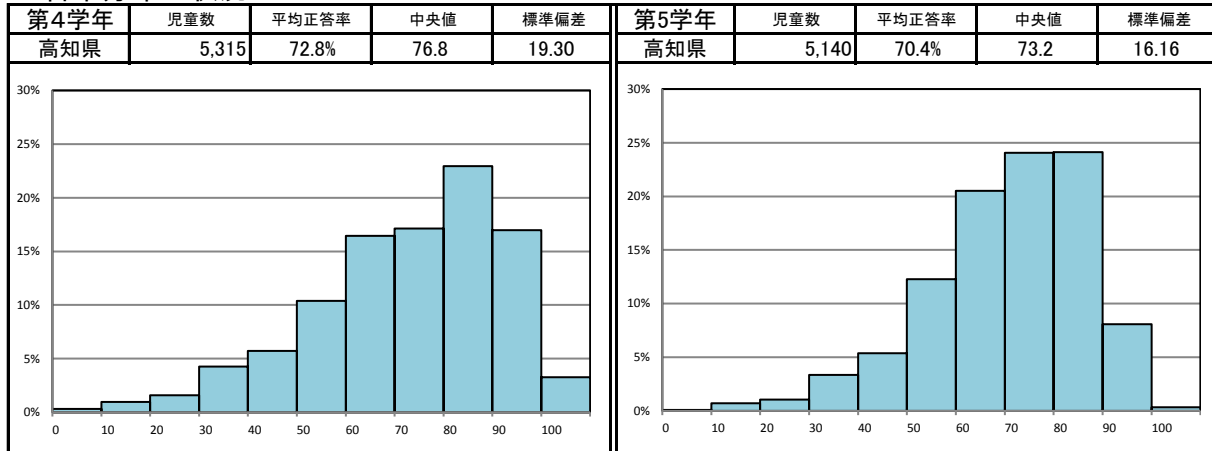
第○学年	
成果	相当数の児童生徒ができていない問題
課題	課題が見られる問題

調査結果を受け、指導方法の改善を図る際のポイントを示しています。

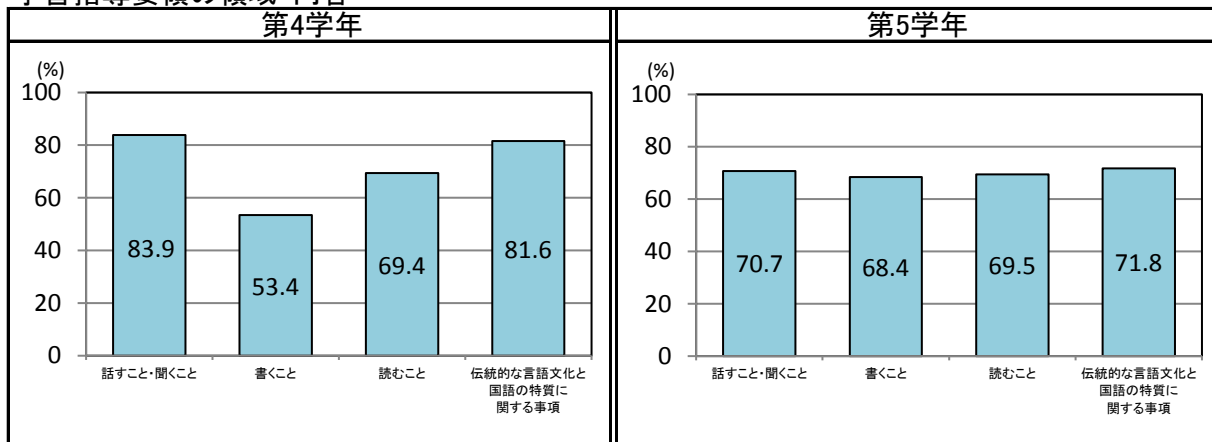
(1) 小学校国語

【分類・区別の状況】

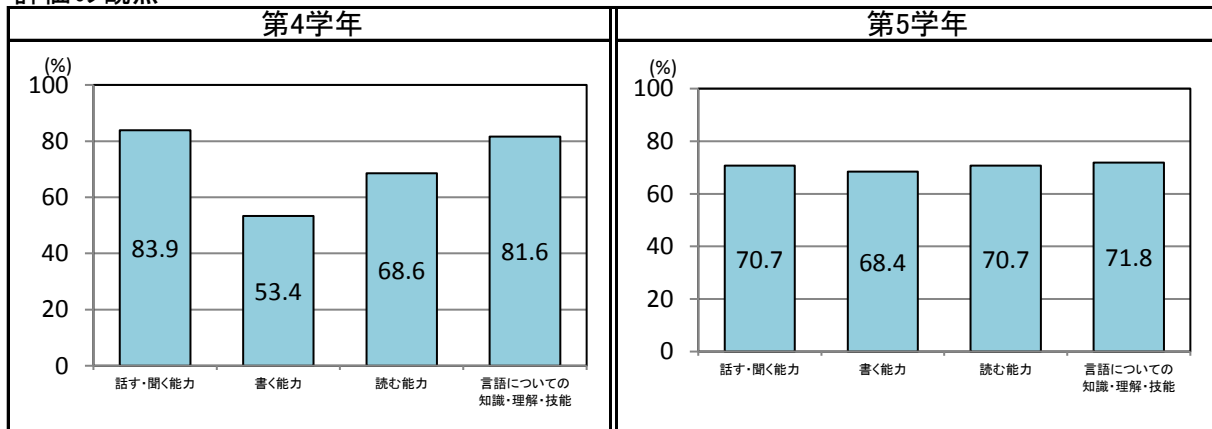
正答率分布の状況



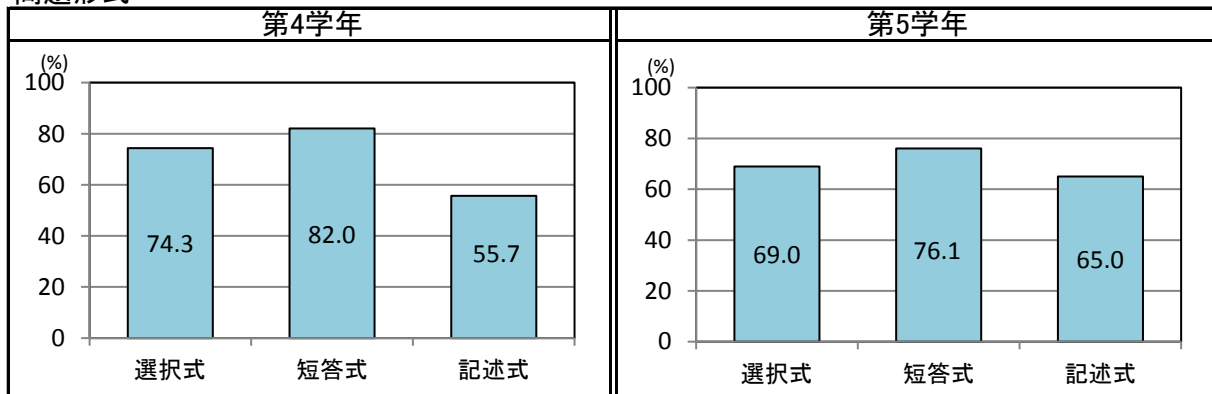
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



【設問別正答率】小学校調査（第4学年：国語）

大問	小問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			高知県	
				話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語理解・技能	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)
1	(1)	石川さんの意見として、適切なものを選ぶ。	話の中心に気を付けて聞く。	エ				○				○			96.5	0.4
	(2)	田村さんの話し方の工夫として、適切なものを選ぶ。	相手や目的に応じて、理由や事例を挙げながら筋道を立てて話す。	イ				○				○			88.6	0.4
	(3)	司会者の役割を理解し、□にあてはまるふさわしい言葉を書く。	司会者の役割を理解して、進行に沿って話し合う。	オ				○					○		66.6	5.6
2	(1)	① 漢字を読む。（うでに包帯をまく。）	当該学年までに配当されている漢字を読む。				(1)ウ(イ)				○		○		95.3	2.0
		② 漢字を読む。（位置をたしかめる。）	当該学年までに配当されている漢字を読む。				(1)ウ(イ)				○		○		94.4	1.8
		③ 漢字を読む。（たくさんの山が連なる。）	当該学年までに配当されている漢字を読む。				(1)ウ(イ)				○		○		88.7	2.1
		④ 漢字を読む。（駅で友だちと別れる。）	当該学年までに配当されている漢字を読む。				(1)ウ(イ)				○		○		96.1	1.1
	(2)	① 漢字を書く。（やくひんをあつかう。）	前学年までに配当されている漢字を正しく書く。				(1)ウ(イ)				○		○		76.7	5.0
		② 漢字を書く。（雨でどうろがぬれる。）	前学年までに配当されている漢字を正しく書く。				(1)ウ(イ)				○		○		72.7	4.3
		③ 漢字を書く。（てつのとびらにさわる。）	前学年までに配当されている漢字を正しく書く。				(1)ウ(イ)				○		○		64.5	5.9
		④ 漢字を書く。（子犬をたすける。）	前学年までに配当されている漢字を正しく書く。				(1)ウ(イ)				○		○		83.5	4.3
3	(1)	文の主語として適切なものを選ぶ。	文中における主語を捉える。									○	○		85.6	0.4
	(2)	文の述語として適切なものを選ぶ。	文中における述語を捉える。									○	○		77.1	0.5
	(3)	指示語の使い方として適切なものを選ぶ。	指示語の使い方を理解し、使う。				(1)イ(ウ)					○	○		79.1	1.1
	(4)	意味を考えながら、漢字を正しく書く。	文章を書く際に、漢字のもつ意味を考えながら正しく使う。				(1)ウ(イ)					○	○		65.9	14.4
4	(1)	「作ちゃんがいたころ」のことが書かれている文章として、適切なものを選ぶ。	登場人物の行動を基にして、場面の移り変わりを捉える。				ウ				○		○		55.5	1.0
	(2)	「二人で、雷合戦しないか。」と、父さんが言った理由として、適切なものを選ぶ。	叙述を基にして、登場人物の気持ちを捉える。				ウ				○		○		58.4	0.8
	(3)	手ぶくろを、しっかりとめ直しだちひろの様子として、適切なものを選ぶ。	叙述を基にして、登場人物の様子を捉える。				ウ				○		○		70.1	0.8
	(4)	手紙に書く内容として、□にあてはまる言葉として、適切なものを選ぶ。	登場人物の気持ちを、場面の移り変わりと一緒に付けて具体的に想像する。				ウ				○		○		59.4	1.2
5	(1)	ア리가えきを飲む理由として、適切なものを選ぶ。	目的に応じて、中心となる語や文を捉える。				イ				○		○		86.1	1.0
	(2)	「問い」の段落として、適切なものを選ぶ。	目的に応じて、文章の構成や表現の特徴を捉える。				イ				○		○		77.5	2.6
	(3)	「これは、ただではない」ということを説明した文の□にあてはまる言葉として、適切なものを選ぶ。	目的に応じて、中心となる語や文を捉える。				イ				○		○		78.6	1.8
6	(1)	新聞の割り付けとして、適切なものを選ぶ。	話合いの内容を踏まえて、記事の割り付けをする。				イ				○		○		52.9	2.3
	(2)	アンケートの結果をもとに、□にあてはまる文を書く。	目的に応じて、書こうとすることの中心を明確にして書く。				ウ				○		○		38.9	8.0
7		121字から180字の間で書く。	指定された文字数で文章を書く。								○		○		61.2	15.7
		2段落に分けて書く。	段落相互の関係などに注意して文章を構成する。								○		○		53.4	15.7
		第1段落に、取材メモをもとに「だれに」「どんな」話を聞いたのかを書く。	目的に応じて、書こうとすることの中心を明確にして書く。								○		○		55.8	15.7
		第2段落に、保健係としてクラスのみんなにかげの予防をよびかける言葉を書く。	目的や必要に応じて、取材メモを基に、自分の考えを書く。								○		○		58.3	15.7

【設問別正答率】小学校調査（第5学年：国語）

大問	小問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			高知県	
				話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	識・理解・技能	言語についての知識	選択式	短答式	記述式	正答率(%)
1	(1)	小川さんの意見として、適切なものを選ぶ。	話し手の意図を捉えながら聞く。	エ				○				○			92.5	0.1
	(2)	発表者の話し方の工夫として、適切なものを選ぶ。	目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら話す。	イ				○				○			75.7	0.1
	(3)	話し合いの中で出た意見の共通点を理解し、ふさわしい言葉を書く。	話し合いの参加者として、立場を明確に話し合う。	オ				○					○		43.9	6.2
2	(1)	① 漢字を読む。（心から感謝する。）	当該学年までに配当されている漢字を読む。				(1)ウ(ア)				○		○		98.5	0.3
		② 漢字を読む。（すばらしい技術を持つ。）	当該学年までに配当されている漢字を読む。				(1)ウ(ア)				○		○		95.3	0.5
		③ 漢字を読む。（難しい問題をとく。）	当該学年までに配当されている漢字を読む。				(1)ウ(ア)				○		○		90.3	1.2
		④ 漢字を読む。（大事な試験に値える。）	当該学年までに配当されている漢字を読む。				(1)ウ(ア)				○		○		90.9	1.1
	(2)	① 漢字を書く。（荷物を <u>ぞうこ</u> に運ぶ。）	前学年までに配当されている漢字を正しく書く。				(1)ウ(ア)				○		○		60.1	7.4
		② 漢字を書く。（毎日を <u>けんこう</u> にすごす。）	前学年までに配当されている漢字を正しく書く。				(1)ウ(ア)				○		○		53.0	8.9
		③ 漢字を書く。（薬を <u>こな</u> にして飲む。）	前学年までに配当されている漢字を正しく書く。				(1)ウ(ア)				○		○		90.1	4.5
		④ 漢字を書く。（みんなの幸せを <u>のぞ</u> む。）	前学年までに配当されている漢字を正しく書く。				(1)ウ(ア)				○		○		64.8	11.7
3	(1)	修飾語として適切なものを選ぶ。	修飾と被修飾との関係など、文の構成について正しく理解する。				3・4(1)イ(キ)				○	○		70.6	0.2	
	(2)	修飾語として適切なものを選ぶ。	修飾と被修飾との関係など、文の構成について正しく理解する。				3・4(1)イ(キ)				○	○		19.6	0.3	
	(3)	敬語の使い方として適切なものを選ぶ。	相手や場面に応じて、適切に敬語を使うことができる。				(1)イ(ウ)				○	○		86.7	0.4	
	(4)	漢字の意味を考えながら、同音異義語を正しく書く。	文章を書く際に、漢字のもつ意味を考え、同音異義語に注意して正しく使う。				(1)ウ(ア)				○	○		42.1	18.3	
4	(1)	文章中の□にあてはまる言葉として、適切なものを選ぶ。	叙述と関係付けて、登場人物の心情を捉える。				エ				○	○		79.5	0.2	
	(2)	笑った友也の様子として、適切なものを選ぶ。	叙述と関係付けて、登場人物の様子を捉える。				エ				○	○		85.5	0.2	
	(3)	水中に飛びこんだあとの友也の様子として、適切なものを選ぶ。	叙述と関係付けて、登場人物の様子を捉える。				エ				○	○		78.0	0.4	
	(4)	友也の目から見て書き直した文章の□にあてはまる言葉として、適切なものを選ぶ。	叙述と関係付けて、登場人物の心情を捉える。				エ				○	○		66.1	0.5	
5	(1)	□の文が、文章中のどの段落について述べたものか、適切なものを選ぶ。	文章全体の構成を捉える。				ウ				○	○		41.7	0.9	
	(2)	文章の内容として、適切なものを選ぶ。	目的に応じて、文章の内容を的確に押さえる。				ウ				○	○		75.8	0.8	
	(3)	文章の説明として、適切なものを選ぶ。	目的に応じて、文章の内容を的確に押さえる。				ウ				○	○		60.2	1.0	
6	(1)	【話し合い】の内容をもとに、記事の□にあてはまる言葉を書く。	表現の効果を確かめ、工夫して書く。				オ				○		○	31.4	9.6	
	(2)	話し合いから情報を読み取り、見出しとして、適切なものを選ぶ。	目的や意図に応じ、記事に見出しを付ける。				ウ				○		○	64.6	2.2	
7		141字から200字の間で書く。	指定された文字数で文章を書く。								○		○	70.0	8.2	
		2段落構成で書く。	段落相互の関係などに注意して文章を構成する。								○		○	70.0	8.2	
		第1段落に、アとイのどちらが注意書きとして効果があると思うかを書く。	事実と意見を区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりする。								○		○	88.1	8.2	
		第2段落に、なぜそのように思うのか、第1段落で選んだ理由を書く。	事実と意見を区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりする。								○		○	86.4	8.2	

【小学校国語科における成果と課題】

	第4学年			第5学年		
	領域	問題番号	出題のねらい	領域	問題番号	出題のねらい
成果	話	①(1) 96.5%	話の中心に気を付けて聞くこと	話	①(1) 92.5%	話し手の意図を捉えながら聞くこと
		①(2) 88.6%	相手や目的に応じて、理由や事例を挙げながら筋道を立てて話すこと		伝	②(1) 98.5%
	伝	②(1) 95.3%	漢字を読むこと	② 95.3%		
		③ 88.7%		③(3) 86.7%	相手や場面に応じて、適切に敬語を使うこと	
課題	読	④(1) 55.5%	登場人物の行動を基にして、場面の移り変わりを捉えること	伝	③(2) 19.6%	修飾と被修飾の関係など、文の構成について正しく理解すること
	書	⑥(1) 52.9%	話合いの内容を踏まえて、新聞の割り付けをすること	伝	③(4) 42.1%	文章を書く際に、漢字のもつ意味を考え、同音異義語に注意して正しく使うこと
	書	⑥(2) 38.9%	目的に応じて、書こうとすることの中心を明確にして書くこと	読	⑤(1) 41.7%	文章全体の構成を捉えること
				書	⑥(1) 31.4%	表現の効果を確かめ、工夫して書くこと

【領域・内容】話：話すこと・聞くこと、書：書くこと、読：読むこと、伝：伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

今後さらに重点となる指導改善のポイント

ポイント1

目的や意図に応じて、適切な内容を取り上げて、詳しく書く指導の充実

- 自分の考えが明確に伝わるように書くためには、文章の種類や特徴を踏まえたうえで、相手に分かりやすく伝えたり、相手の理解を助けたりするための構成をその効果も考えて工夫することが大切です。

ポイント2

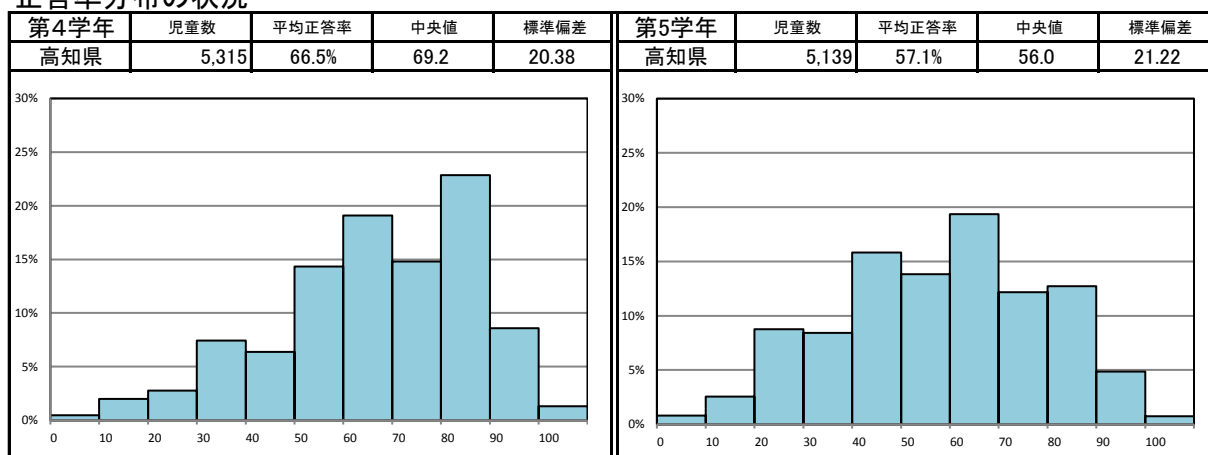
漢字を習得し、語彙を豊かにするための指導の充実

- 学習した漢字を繰り返し書いて練習するのみでなく、様々な場面で、漢字のもつ意味を考えながら、実際に文や文章の中で正しく使うことができるように指導することが大切です。また、本調査で取り上げたように、「特」「得」などの同音異義語に注意して使うことができるように指導することも大切です。
- 国語辞典や漢字辞典を日常的に利用して調べる習慣を付けるために、必要なときにいつでも使えるような環境をつくっておくことも大切です。

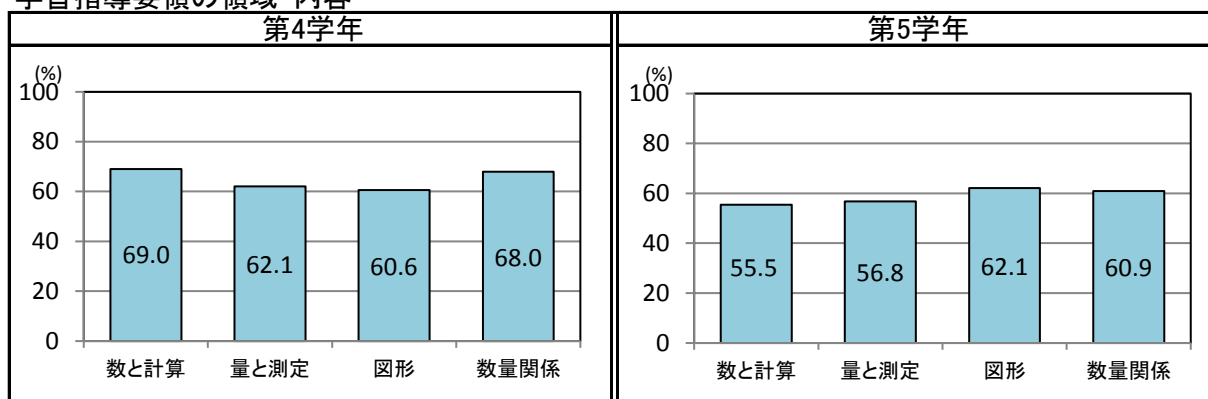
(2) 小学校算数

【分類・区別の状況】

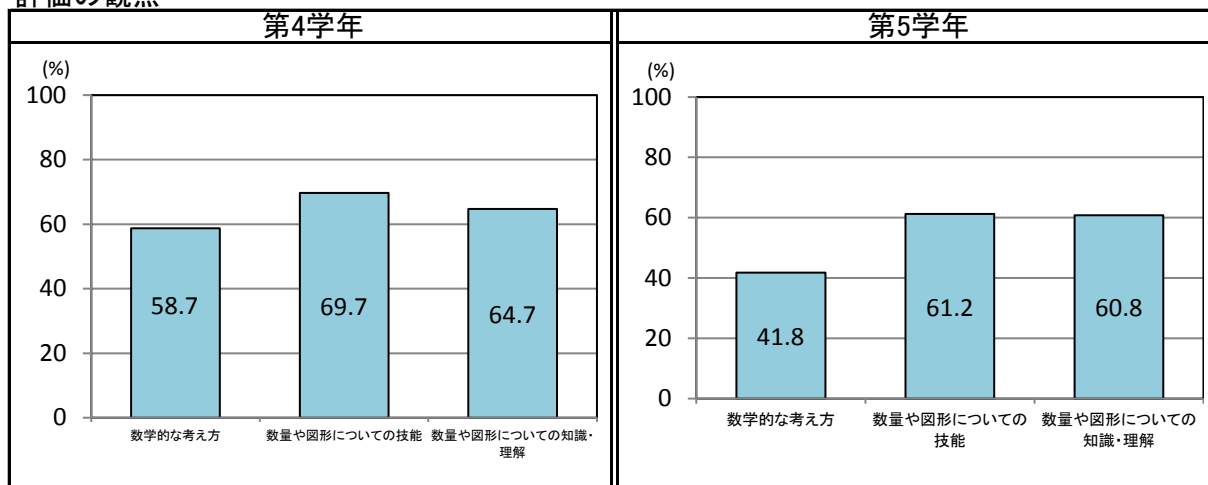
正答率分布の状況



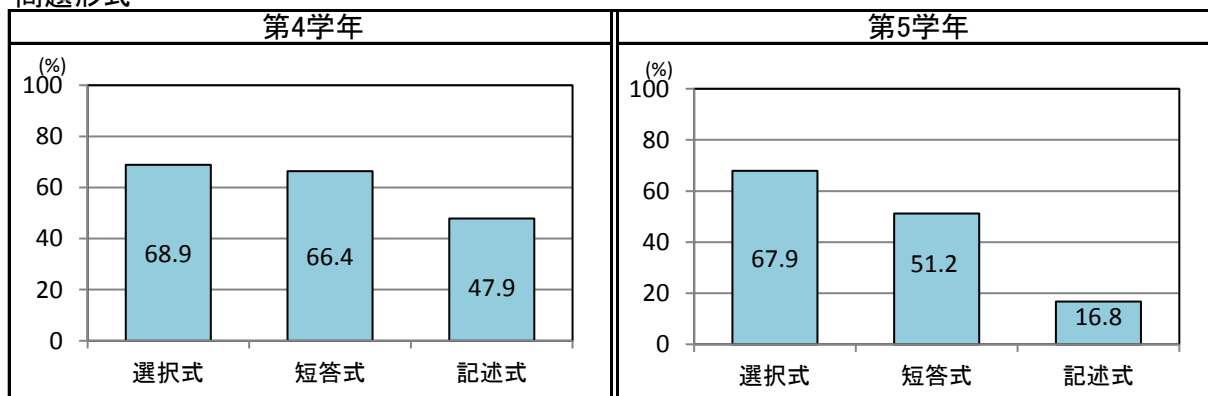
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



【設問別正答率】小学校調査（第4学年：算数）

大 問	小 問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点			問題形式		高知果	
				数と計算	量と測定	図形	数量関係	数学的な考え方	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率（％）	無解答率（％）
1	(1)	赤いリボンの長さは、白いリボンの長さの4倍で240cmのとき、白いリボンの長さを□cmとしたときの正しい図を選ぶ。	場面と図とを関連付けて、2つの数量の関係を理解している。	(3)	イ				○	○			83.1	0.4
	(2)	赤いリボンの長さは、白いリボンの長さの4倍で240cmのとき、白いリボンの長さを求める式を選ぶ。	示された文章問題に適した演算を選ぶことができる。	(3)	イ				○	○			84.6	0.3
2		$72 \div 3$ の筆算の中の6が何を表しているのかを選ぶ。	わり算の筆算の各段階の数の意味を理解している。	(3)	ア				○	○			57.4	0.3
3	(1)	$60+40 \div 5$ を計算する。	計算のきまりを使って、四則混合（加法・除法）の計算ができる。				(2)	ア	○		○		68.2	0.8
	(2)	$96 \div 18$ を計算する。 （商は整数で答えて、あまりもだす）	整数の除法の計算をすることができる。	(3)	イ				○		○		81.8	2.4
4		0から9までのカードを使って2番目に大きい10けたの数を書く。	十進位取り記数法の考え方を理解し、与えられた数字で2番目に大きい数をつくることができる。	(1)	ア				○		○		31.4	1.6
5	(1)	6億8000万は1000万を何こ集めた数かについて、正しいものを選ぶ。	数の相対的な大きさについて理解している。	(1)	ア				○	○			68.1	0.2
	(2)	数直線で、矢印が表す数として正しいものを選ぶ。	数直線上に示された大きい数を読み取ることができる。	(1)	ア				○	○			86.3	0.2
6	(1)	257391を四捨五入して上から2けたの概数にしたものを選ぶ。	上からある桁までの概数の表し方を理解している。	(2)	イ				○	○			81.5	0.4
	(2)	四捨五入して十の位までの概数にしたとき、130になる数の範囲を選ぶ。	概数に対応する数の範囲を理解している。	(2)	イ				○	○			58.7	0.8
7	式	116ページの本を1日8ページずつ読むとき、読み終わるのに何日かかるかを求める式を書く。	示された文章問題（包含除）を解くための除法の立式ができる。	(3)	イ				○		○		90.1	2.4
	答え	116ページの本を1日8ページずつ読むとき、読み終わるのに何日かかるかを求める。	文章問題を解くために立式したわり算の答えの余りを処理し、現実場面に即して正しい答えを求めることができる。	(3)	イ				○		○		69.2	3.7
8		$(300-6) \div 6$ で答えが求められる問題を選ぶ。	四則混合した式の意味について理解している。				(2)	ア	○	○			62.1	0.7
9		98×7 を分配法則を用いて計算したときの途中式を書く。	分配法則を理解している。				(3)	ア	○	○			58.4	1.1
10		示された角度として正しいものを選ぶ。	分度器の中に示された角の大きさを読み取ることができる。	(2)	イ				○	○			71.1	0.4
11		180° より大きい角の大きさを求める式を選ぶ。	180° より大きい角の大きさの測り方を理解している。	(2)	ア、イ				○	○			83.4	0.6
12	(1)	1辺が8cmの正方形の面積を求める。	正方形の面積を求めることができる。	(1)	イ				○		○		76.5	1.3
	(2)	はがきのおよその面積として正しいものを選ぶ。	身近にあるものの面積の感覚を身に付けている。	(1)	ア				○	○			43.3	1.0
13		長方形を2つ組み合わせた図形について、えりさんの求め方にある図を選ぶ。	複合図形の面積を求める式に対応した図を判断することができる。	(1)	イ			○		○			70.8	0.9
14		長方形アイウエにおいて、辺アイに垂直な辺がすべて書かれているものを選ぶ。	長方形の辺と辺の位置関係を理解している。				(1)	ア	○	○			61.4	1.3
15		はばのちがう2枚の長方形を重ねると、重なった部分が平行四辺形になる理由を選ぶ。	平行四辺形の性質を理解している。				(1)	イ	○	○			59.8	1.8
16	(1)	折れ線グラフから、4年1組が8月に回収した紙の重さを読み取る。	折れ線グラフを正しく読み取ることができる。				(4)	イ	○		○		86.5	2.2
	(2)	2つの折れ線グラフからわかることを選ぶ。	2つの折れ線グラフを正しく読み取ることができる。				(4)	イ	○		○		72.4	2.3
	(3)	2つのグラフについてみゆきさんが言っていることが正しいかどうかを選び、そのわけを書く。	他者の考え方が正しいかどうかを判断し、その理由をグラフの特徴を基に記述できる。				(4)	イ	○		○		60.2	3.9
17	(1)	4つの町の地図から、それぞれのひなん場所の面積を求め、その面積が一番大きい町とその面積を書く。	地図から情報を読み取り、面積を求めることができる。	(1)	イ				○		○		27.5	7.9
	(2)	パンフレットの枚数の見積もり方についてのさくらさんの説明が正しいかどうかを選び、そのわけを書く。	他者の考え方が正しいかどうかを判断し、その理由を目的に合わせた概数の用い方を基に記述できる。	(2)	イ、ウ				○		○		35.6	13.0

【設問別正答率】小学校調査（第5学年：算数）

問題番号		問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点			問題形式			高知県	
大問	小問			数と計算	量と測定	図形	数量関係	数学的 な考え方	数量 や図形 について の知識・ 理解	知識 や図形 について の	選択 式	短答 式	記述 式	正答 率 (%)	無解 答率 (%)
1	(1)	6.5mの重さが2.6kgのホースの1mの重さを□kgとして表した図を選ぶ。	場面と図とを関連付けて、2つの数量の関係を理解している。	(3)			(1)		○	○			77.6	0.4	
	(2)	6.5mの重さが2.6kgのホースの1mの重さを求める式を選ぶ。	示された文章問題に適した演算を選ぶことができる。	(3)			(1)		○	○			44.2	0.3	
2		●が0でない数のとき、計算の答えが●より大きくなる式をすべて選ぶ。	小数の乗法や除法における乗数と積の大きさ、除数と商の大きさの関係について理解している。	(3)					○	○			35.4	3.7	
3		$34 \div 6.3 = 5$ あまり2.5の検算の式にあてはまる数を選ぶ。	余りのある小数の除法の答えの確かめ方を理解している。	(3)					○	○			72.6	0.6	
4	(1)	21.6×4.07 を計算する。	小数の乗法の計算をすることができる。	(3)					○		○		65.8	1.1	
	(2)	$1 \frac{1}{6} - \frac{2}{3}$ を計算する。	異分母分数の帯分数と真分数の減法の計算をすることができる。	(4)					○		○		78.8	1.9	
5		0, 1, 6, 40, 83, 372の中から偶数を全部書いたものを選ぶ。	偶数の意味を理解している。	(1)					○	○			89.3	0.2	
6		たて40cm, 横48cmの長方形に同じ大きさの正方形をしきつめるとき、一番大きい正方形の1辺の長さを求める。	最大公約数を求めることができる。	(1)					○		○		49.2	5.6	
7		9.6×25 を分配法則を用いて計算したときの式にあてはまる数を書く。	小数の乗法において分配法則を利用した計算方法を理解している。	(3)						○			47.8	3.8	
8	式	青いテープが4.8m, 赤いテープが12mのとき、赤いテープが青いテープの何倍かを求める式を書く。	示された文章問題（比較量が基準量の何倍かを求める）を解くための除法の立式ができる。	(3)					○		○		60.5	1.8	
	答え	青いテープが4.8m, 赤いテープが12mのとき、赤いテープが青いテープの何倍かを求める。	立式したわり算から問題の答えを求めることができる。	(3)					○		○		50.9	2.6	
9		5.2×1.3 の式で答えが求められる問題を選ぶ。	小数の乗法の意味について理解している。	(3)					○	○			58.5	0.5	
10	(1)	1辺の長さが10cm, 対角線の長さがそれぞれ12cm, 16cmのひし形の面積を求める式を選ぶ。	ひし形の面積の求め方を理解している。	(1)					○	○			82.1	0.4	
	(2)	上底4cm, 下底8cm, 高さ3cmの台形の面積を求める。	台形の面積を求めることができる。	(1)					○	○			76.1	1.1	
11		1辺が3cmの立方体の体積を選ぶ。	立方体の体積を求めることができる。	(2)					○	○			54.9	0.5	
12		直方体を2つ組み合わせた立体の体積を選ぶ。	直方体を組み合わせた形の体積を求めることができる。	(2)					○	○			74.0	0.8	
13		ゆりさんが放課後に校庭を走った距離の表から、1日に走った距離の平均を求める。	測定値の平均を求めることができる。	(3)					○	○			75.9	0.8	
14		遊園地の4つのエリアの面積と来園者の人数の表から、どのエリアが一番こんでいたかを選ぶ。	異種の2つの量の混み具合の比べ方を理解している。	(4)					○	○			37.7	1.4	
15		直方体の展開図から、辺アイに垂直な面をすべて書いているものを選ぶ。	直方体の展開図から、直方体の辺と面の位置関係を理解している。				4 (2)		○	○			54.5	0.9	
16		四角形ABCDに合同な四角形EFGHにおいて、角Gの大きさを選ぶ。	2つの合同な四角形について、対応する角の大きさを求めることができる。				(1)		○	○			84.9	0.9	
17		合同な図形をかくことができない三角形をすべて選ぶ。	合同な三角形をかくために必要な条件を理解している。				(1)		○	○			47.0	2.8	
18	(1)	けいたさんが調べたことを基にして、テレビのどの部分の長さがわかるかを選び、その長さを求める。	示された情報を問題場面に適用することができる。	(3)					○		○		47.9	7.7	
	(2)	けいたさんが調べたことを基にして、けいたさんたちが買ったテレビ画面の大きさをを選び、その理由を書く。	示された情報から、条件に合うテレビ画面の大きさを判断し、その理由を記述できる。	(3)					○		○		9.4	23.6	
19	(1)	2回切って2つの長方形を組み合わせた図形の面積を半分にするとき、2回目に切り取る三角形の高さを求める。	示された情報から、図形を等しい大きさに分けたときの辺の長さを考えることができる。	(1)					○		○		29.1	15.9	
	(2)	2つの長方形を組み合わせた図形の面積を半分にする3通りの方法からきまりを見だし、そのきまりを上底と下底のことはを使って書く。	台形の面積が等しくなる理由を、3つの台形から見いだした共通点を基に記述できる。	(1)					○		○		24.3	31.7	

【小学校算数における成果と課題】

	第4学年			第5学年		
	領域	問題番号	出題のねらい	領域	問題番号	出題のねらい
成果	計	⑤ (2) 86.3%	数直線上に示された大きい数を読み取ること	計	⑤ 89.3%	偶数の意味を理解していること
	計	⑦ 式 90.1%	示された文章問題（包含除）を解くための除法の立式ができること	量	⑩ (1) 82.1%	ひし形の面積の求め方を理解していること
	数	⑩ (1) 86.5%	折れ線グラフを正しく読み取ること	図	⑩ 84.9%	2つの合同な四角形について、対応する角の大きさを求めること
課題	計	④ 31.4%	十進位取り記数法の考え方を理解し、与えられた数字で2番目に大きい数をつくること	計	⑩ (2) 9.4%	示された情報から、条件に合うテレビ画面の大きさを判断し、その理由を記述できること
	量	⑫ (1) 27.5%	地図から情報を読み取り、面積を求めること	量	⑫ (1) 29.1%	示された情報から、図形を等しい大きさに分けたときの辺の長さを考えることができること
	計	⑫ (2) 35.6%	他者の考え方が正しいかどうかを判断し、その理由を目的に合わせた概数の用い方を基に記述できること	量	⑫ (2) 24.3%	台形の面積が等しくなる理由を、3つの台形から見いだした共通点を基に記述できること

【領域・内容】 計：数と計算、量：量と測定、図：図形、数：数量関係

今後さらに重点となる指導改善のポイント

ポイント1

図形を構成する要素やそれらの位置関係に着目して図形を構成することや、構成できた根拠を説明したりする活動の充実

○図形の構成に関する指導においては、図形の構成要素に着目して構成できる図形を予想したり、構成できた根拠を説明したりすることが大切です。また、図形の性質を理解する際には、具体物を用いた活動を取り入れながら、実感的に理解できるようにすることが大切です。

ポイント2

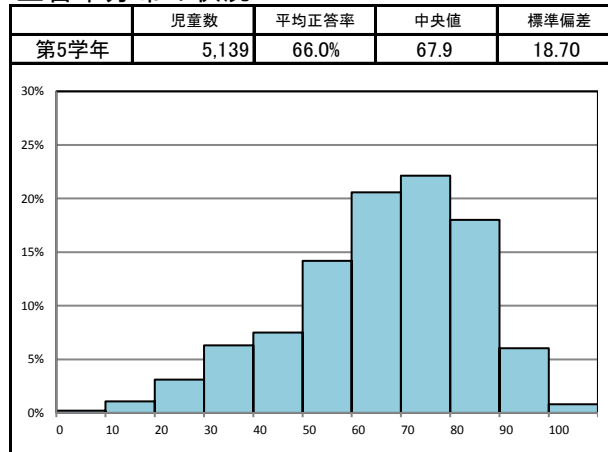
日常生活の問題の解決のために、複数の情報を数量や図形概念と結びつける活動の充実

○日常生活の中で、問題を解決するために見通しを持たせ、必要な情報は何かを適切に判断し、資料などからその情報を取り出すことができるように指導することが大切です。そのために解決の見通しに合わせ、複数の情報を数量の関係や図形の特徴に基づいて整理する活動を通して、適切に情報を活用することができるように指導することが大切です。

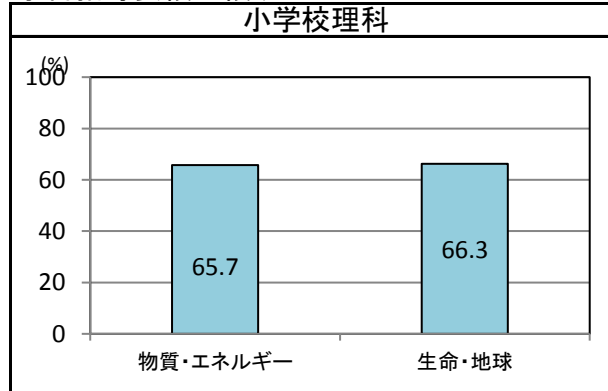
(3) 小学校理科

【分類・区分別の状況】

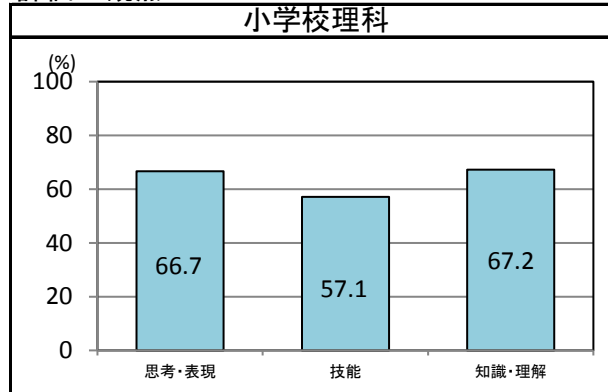
正答率分布の状況



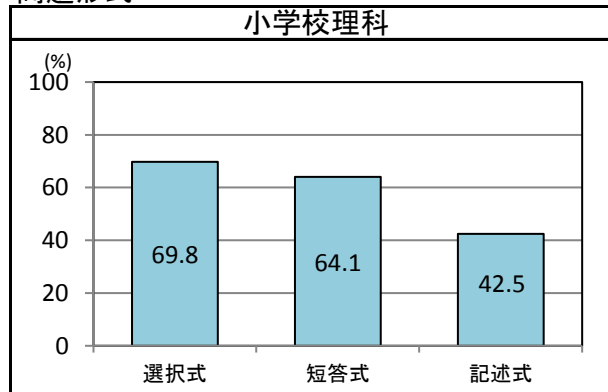
学習指導要領の領域



評価の観点



問題形式



【設問別正答率】小学校調査（第5学年：理科）

大問	小問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点			問題形式			高知県			
				エネルギー	粒子	生命	地球	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然現象についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)		
1	(1)	実験の結果から、風のはたらきについて正しく説明したものを選ぶ。	風の強さと車の走った距離を調べる実験の結果から、風のはたらきについて説明することができる。	3 (2) ア					○			○			96.7	0.0	
	(2)	実験の結果から、のぼしたゴムの長さの正しい組み合わせを選ぶ。	ゴムで動く車が走った距離とのぼしたゴムの長さの関係を指摘することができる。	3 (2) イ					○			○			90.7	0.1	
2	(1)	鉄、アルミニウム、銅の中で、棒磁石につく金属の正しい組み合わせを選ぶ。	鉄だけが磁石に引きつけられることを理解している。	3 (4) ア						○		○			60.3	0.1	
	(2)	自由に動く棒磁石と方位磁針について説明した文において、当てはまる極を書く。	方位磁針の針の向きから、自由に動く棒磁石の極を説明することができる。	3 (4) イ					○			○			56.8	0.6	
3	(1)	乾電池の向きを変えたときのモーターの回る向きと検流計の針の振れる向きの正しい組み合わせを選ぶ。	電流の向きとモーターの回る向きや検流計の針の振れる向きの関係を理解している。	4 (3) ア							○	○			58.2	0.3	
	(2)	回路について説明した文に、当てはまる言葉を書く。	回路の中の電気の流れについて理解している。	4 (3) ア							○		○		45.7	1.5	
4	(1)	空気や水と同じくめた注射器を、ピストンが大きくおし下げられる順に並べ替える。	ピストンをおし下げることができる量を閉じこめた空気や水の量に着目して考察できる。	4 (1) ア、イ					○			○			65.8	0.6	
	(2)	空気であらゆる前玉が飛び理由を正しく説明したものを選ぶ。	閉じこめられた空気を押し縮めたときの体積変化と、押し返す力とを関係付けて捉えることができる。	4 (1) ア					○			○			63.4	0.6	
5	(1)	せっけん水のまぐの変化について正しいものを選ぶ。	空気をあたたためたり冷やしたりしたときの体積の変化を説明することができる。	4 (2) ア					○			○			81.3	0.2	
	(2)	身の回りで物の温度と体積を利用しているものを選ぶ。	温度による体積の変化を利用している身の回りのものを指摘することができる。	4 (2) ア					○			○			62.8	0.3	
6	(1)	① ふっとう石を入れる理由について正しいものを選ぶ。	液体を安全に加熱するための技能を身に付けている。	4 (2) ウ						○		○			63.8	0.5	
		② 水を熱したようすを説明した文に、当てはまる言葉を書く。	グラフから読みとれることを指摘できる。	4 (2) ウ						○			○		57.5	1.7	
	(2)	水の状態について、当てはまるすがたを書く。	水の状態変化について理解している。	4 (2) ウ							○		○		51.0	4.1	
	(3)	水槽の水が減少した理由として正しいものを選ぶ。	自然界では水面から水が蒸発していることを理解している。				4 (3) イ					○	○		80.8	1.3	
7	(1)	川の上流、中流、下流で見られる石のようすをそれぞれ1つずつ選ぶ。	川の上流と下流によって、川原の石の大きさや形に違いがあることを理解している。								○		○		89.3	0.9	
	(2)	川が曲がったところの内側と外側のようすについて正しく説明したものを選ぶ。	川の流れが曲がっているところのようすを理解している。								○	○			70.9	1.1	
	(3)	砂防ダムのはたらきを説明する。	流水のはたらきと土地の変化の関係をともに、砂防ダムのはたらきを説明することができる。								○		○		45.0	6.0	
8	(1)	受精に必要なおすが出すものを何というか書く。	メダカのたまごの成長は、卵と精子が結びつくことが必要であることを理解している。										○	○	72.8	7.1	
	(2)	メダカの雄と雌の見分け方について説明した文に当てはまる正しい言葉の組み合わせを選ぶ。	メダカの雌雄を見分ける方法を理解している。										○	○	40.1	0.6	
	(3)	受精してからメダカがかえるまでのようすを正しく表したものを選ぶ。	メダカのたまごが受精してから、たまごからかえるまでのようすを理解している。										○	○	86.3	0.6	
	(4)	かえったばかりのメダカの育ち方について正しいものを選ぶ。	かえったばかりのメダカの子どもは、しばらくは腹にある養分を使って育つことを理解している。										○	○	84.9	0.7	
	(5)	野生のメダカがえさを与えられなくても生きていける理由を選ぶ。	自然の川や池などで、成長したメダカがえさを与えられなくても育つ理由がわかる。										○	○	87.2	1.0	
9	(1)	顕微鏡で観察するときの最初の手順を選ぶ。	顕微鏡の適切な操作を身に付けている。										○	○	57.7	1.2	
	(2)	顕微鏡の倍率の正しい求め方を選ぶ。	顕微鏡の適切な操作を身に付けている。										○	○	58.2	1.5	
10	(1)	落花生の種子で葉や茎や根になる部分を塗る。	発芽する前の種子について、葉や茎や根になる部分を理解している。											○	○	71.5	10.3
	(2)	発芽に空気が必要かどうかを調べる実験で空気、水、温度の条件を変えるか同じにするかを書く。	種子が発芽する条件を調べるための実験を計画することができる。										○		66.3	4.7	
	(3)	資料から種まきに適した気温を判断し、その理由を書く。	地域の平均気温と栽培時期を関係付けて、種まきに適した気温を分析し、その理由を説明することができる。											○		40.0	6.2
	(4)	落花生を育てるために適した場所を選ぶ。	植物の適した栽培場所について、日光の当たり方を適用して考察できる。					3 (3) ア						○		43.1	3.7

【小学校理科における成果と課題】

		第5学年	
領域・内容	問題番号	出題のねらい	
成 果	工 1	(1) 96.7%	風の強さと車の走った距離を調べる実験の結果から、風のはたらきについて説明すること
	工 1	(2) 90.7%	ゴムで動く車が走った距離とのばしたゴムの長さの関係を指摘すること
	地 7	(1) 89.3%	川の上流と下流によって、川原の石の大きさや形に違いがあることを理解すること
課 題	生 8	(2) 40.1%	メダカの雌雄を見分ける方法を理解すること
	生 10	(3) 40.0%	地域の平均気温と栽培時期を関係付けて、種まきに適した気温を分析し、その理由を説明すること
	生 地 10	(4) 43.1%	植物の適した栽培場所について、日光の当たり方を適用して考察すること

【領域・内容】工：エネルギー、粒：粒子、生：生命、地：地球

今後さらに重点となる指導改善のポイント

ポイント1

複数の情報を関係付けながら、多面的に分析して考察できるようにする指導の充実

- 表やグラフなどの複数の情報から、どのようなことが言えるのかを話し合うことを通して、得られた要点を整理し、それらを関係付けながら多面的に分析できるように指導することが大切です。
- 実験結果などを示すグラフの読み取りに関しては、算数科の学習と関連させた指導を行きましょう。

ポイント2

学習を通して獲得した知識を実際の自然や日常生活など他の場面に適用して考えることができるようにする指導の充実

- 学習した様々な内容と実際の自然の事物・現象との関係に気付くことができるように、知識や経験を日常生活へ適用する場面を意図的に設定することが大切です。

10 (4) のように、植物の栽培に適した場所を説明する際、その手段として植物の成長の様子と日光の当たり方を関係付けて考え、図や模型を用いて表現するなどの学習活動が考えられます。なお、図や模型などについては、解決したい問題についての予想や仮説を発想する場面などで説明のために活用することも大切です。

ポイント3

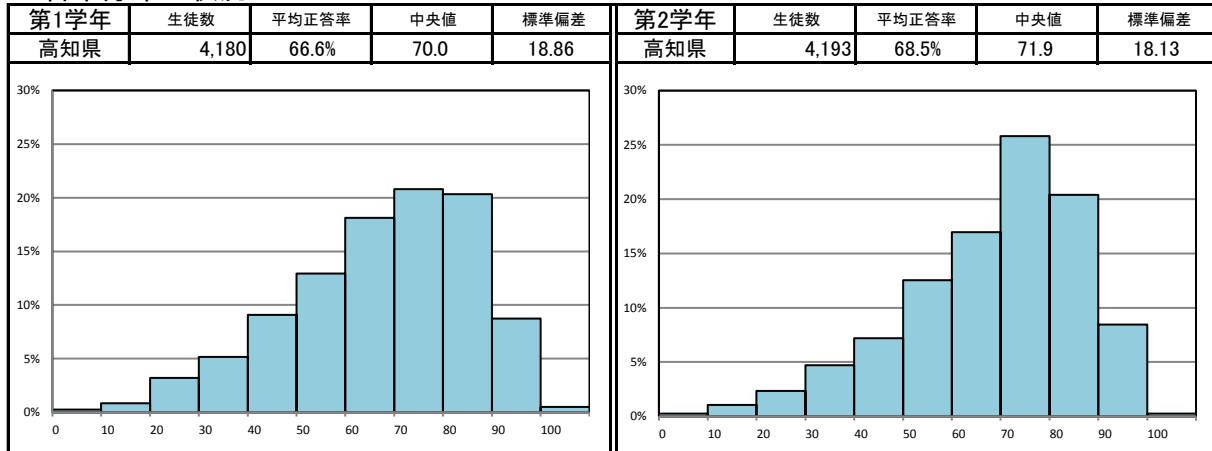
観察・実験器具を適切に操作できるようにする指導の充実

- 器具の適切な扱い方を身に付けるためには、器具の操作手順の理解だけでなく、器具を使用する目的や操作の意味を捉えることが大切です。
- 例えば、日常的に顕微鏡を使うことができるように、安全面に配慮した上で教室や理科室に「顕微鏡コーナー」などを設置し、自由に観察できるようにすることなども考えられます。

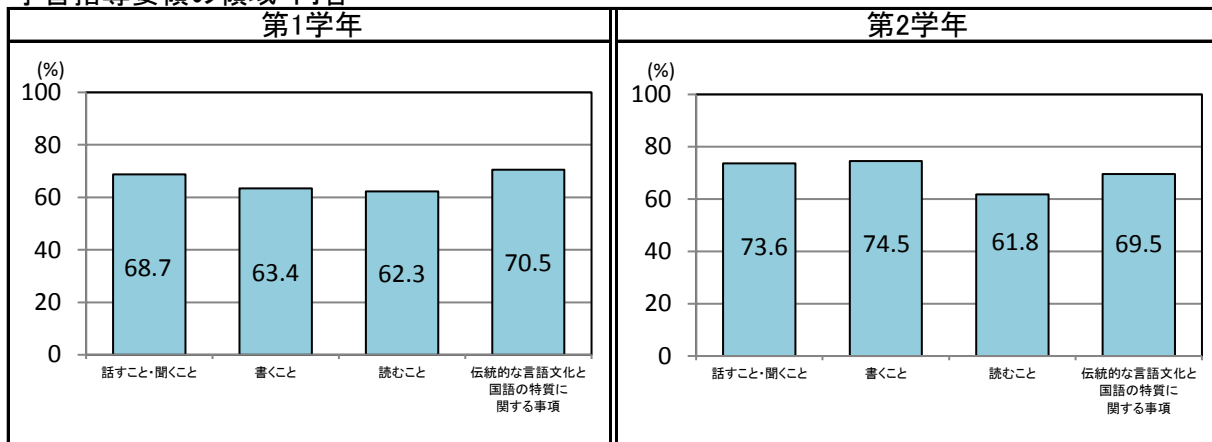
(4) 中学校国語

【分類・区別の状況】

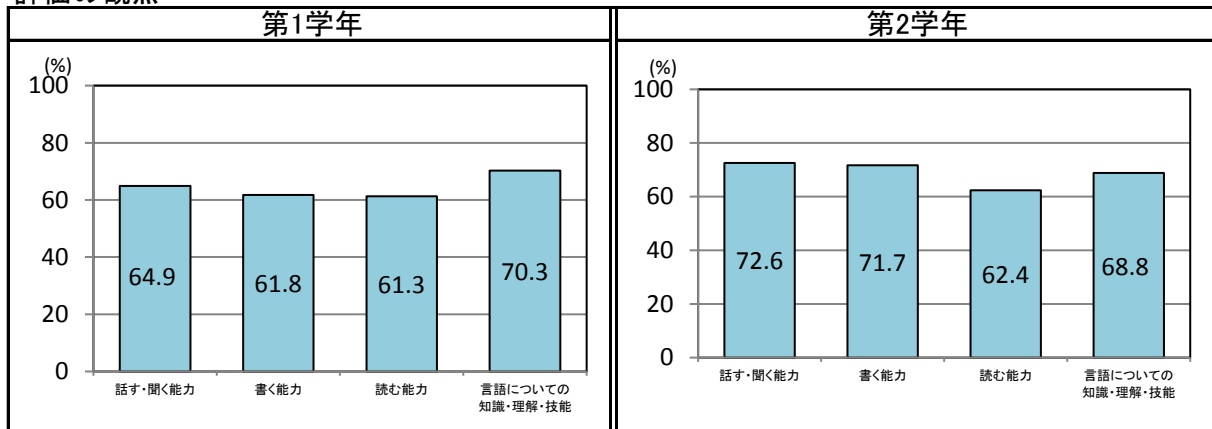
正答率分布の状況



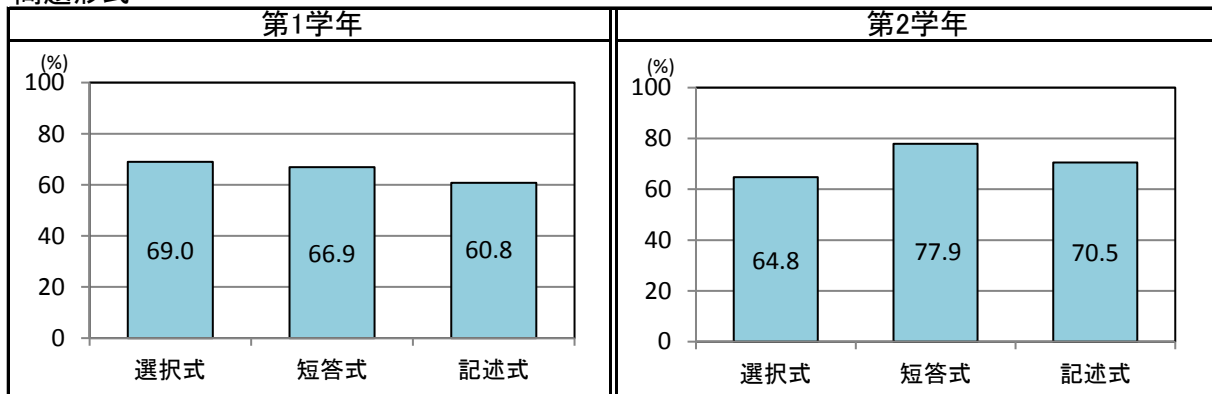
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



【設問別正答率】中学校調査（第1学年：国語）

大問	小問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			高知県	
				話のじゆん・聞くじゆん	書くじゆん	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	正答率（％）	無解答率（％）
1	(1)	校内放送の内容をまとめたものとして適切なものを選ぶ。	話の内容を正確に聞き取る。	エ				○				○			81.9	0.3
	(2)	校内放送で話された意見の長所として適切なものを選ぶ。	話の内容を正確に聞き取る。	エ				○				○			81.1	0.2
	(3)	校内放送の話し方の工夫として適切なものを選ぶ。	相手に理解してもらうための話し方の工夫を聞き取る。	イ				○				○			60.3	0.5
	(4)	実際の放送において、放送原稿に情報を足した理由を書く。	相手に理解してもらうための話し方の工夫を捉える。	イ				○					○		45.6	8.5
2	(1)	① 漢字を読む。 （円を海外のお金に換算する。）	文脈に即して漢字を正しく読む。				(1) ウ(ア)				○		○		53.8	3.8
		② 漢字を読む。 （悪事を盗く。）	文脈に即して漢字を正しく読む。				(1) ウ(ア)				○		○		88.5	1.8
		③ 漢字を読む。 （使命を誓ひる。）	文脈に即して漢字を正しく読む。				(1) ウ(ア)				○		○		76.5	3.9
	(2)	① 漢字を書く。 （セキゴンの重い仕事を。）	文脈に即して漢字を正しく書く。				(1) ウ(イ)				○		○		74.4	8.9
		② 漢字を書く。 （大きな希望を胸にヤドす。）	文脈に即して漢字を正しく書く。				(1) ウ(イ)				○		○		45.0	35.4
		③ 漢字を書く。 （意見を <u>よ</u> べる。）	文脈に即して漢字を正しく書く。				(1) ウ(イ)				○		○		65.5	14.2
3	(1)	文を文節で区切ったものとして適切なものを選ぶ。	文節について理解する。				(1) イ(エ)				○	○			83.8	0.3
	(2)	文を単語で区切り、文頭から五番目の単語を抜き出す。	単語の類別について理解する。				(1) イ(エ)				○		○		42.4	1.1
	(3)	歴史的仮名遣い「とらへて」を現代仮名遣いに直す。	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む。				(1) ア(ア)				○		○		89.4	2.4
	(4)	「石の上にも三年」の意味と、同じ意味のことわざを選ぶ。	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う。				(1) イ(ウ)				○	○			77.5	0.9
4	(1)	文章の中にあてはまる接続詞の組み合わせとして適切なものを選ぶ。	接続詞の働きについて理解する。				(1) イ(エ)				○	○			78.3	0.4
	(2)	企業が利益を生むためにしていることの例としてあてはまらないものを選ぶ。	文脈の中における語句の意味を理解し、適切に用いる。			ア				○		○			47.3	0.9
	(3)	文章の段落を見出しに合わせて大きく三つのまとまりに分けたものとして適切なものを選ぶ。	段落ごとに内容を捉える。			エ				○		○			64.0	0.6
	(4)	本文中で筆者が述べていることの本旨として適切なものを選ぶ。	文章の本旨を捉える。			イ				○		○			65.9	0.7
5	(1)	ダッシュの動作の理由として適切なものを選ぶ。	登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する。			ウ				○		○			75.8	0.6
	(2)	父親の行動を受けたダッシュの気持ちの変化として適切なものを選ぶ。	登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する。			ウ				○		○			69.5	0.7
	(3)	ダッシュが両親に関して考えたこととして適切なものを選ぶ。	登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解する。			ウ				○		○			76.2	0.7
	(4)	文章の表現の特徴についての説明として適切なものを選ぶ。	文章の表現の特徴について自分の考えを持つ。			エ				○		○			40.0	1.1
6	(1)	【話し合いの様子】における司会者の役割として適切なものを選ぶ。	話し合いの話題の方向を捉えて司会の役割を果たす。	オ				○				○			74.5	1.1
	(2)	【話し合いの様子】にあてはまる言葉として適切なものを選ぶ。	目的に応じて必要な情報を読み取る。			カ				○		○			59.5	1.2
	(3)	カレンダーを作り直した理由を、【話し合いの様子】をふまえて書く。	自分の考えを根拠を明確にして書く。			ウ				○			○		32.3	11.3
7		8行から10行（141字から200字）の間で書く。	指定された文字数で書く。			イ・ウ				○			○		71.1	13.1
		3段落構成で書く。	3段落構成で文章を書く。			イ・ウ				○			○		65.7	13.1
		第1段落に運動会の種目を決める方法について、自分の立場を書く。	自分の考えを明確にして書く。			イ・ウ				○			○		84.6	13.1
		第2段落に立場の理由を、自分の体験を具体的にに入れて書く。	自分の考えについて理由を書く。			イ・ウ				○			○		52.9	13.1
		第3段落に文章のまとめを書く。	段落相互の関係をふまえてまとめを書く。			イ・ウ				○			○		73.7	13.1

【設問別正答率】中学校調査（第2学年：国語）

大 問	小 問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			高知県	
				話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	に化伝統的 に関する 事項 と国語 的特 質	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語について の知 識・理 解・技 能	選択式	短答式	記述式	正答率 (%)	無解答率 (%)
1	(1)	安田さんの意見の述べ方にあてはまるものを選ぶ。	論理的な構成を工夫して話す。	イ				○			○				75.7	0.1
	(2)	話し合いで出された意見にあてはまるものとして適切なものを選ぶ。	話の論理的な構成や展開に注意して聞く。	エ				○			○				94.3	0.1
	(3)	司会者が行っていた話し合いの進め方の工夫として適切なものを選ぶ。	話し合いの目的に沿って司会の役割を果たす。	オ				○			○				77.4	0.4
	(4)	話し合いで出された意見として、あてはまる言葉を書く。	話の要点を聞き取る。	エ				○				○			46.9	7.8
2	(1)	① 漢字を読む。 (今までの履歴を記す。)	文脈に即して漢字を正しく読む。				(1) ウ(ア)				○	○			66.0	2.2
		② 漢字を読む。 (事故に遭った。)	文脈に即して漢字を正しく読む。				(1) ウ(ア)				○	○			93.3	2.1
		③ 漢字を読む。 (番券を借さない。)	文脈に即して漢字を正しく読む。				(1) ウ(ア)				○	○			90.8	1.8
	(2)	① 漢字を書く。 (家族でオンセン旅行に行く。)	文脈に即して漢字を正しく書く。				(1) ウ(イ)				○	○			80.3	3.8
		② 漢字を書く。 (アマゾン川のリュウイ主を探検する。)	文脈に即して漢字を正しく書く。				(1) ウ(イ)				○	○			67.5	12.5
		③ 漢字を書く。 (日本の文化のミナモトをさぐる。)	文脈に即して漢字を正しく書く。				(1) ウ(イ)				○	○			69.6	15.7
3	(1)	傍線で示された文節の関係と同じ関係が示されている文を選ぶ。	文の成分の照応について理解する。				(1) イ(ウ)				○	○			54.1	0.4
	(2)	適切な語句を選択する。(絵画教室の先生から、海外旅行のお土産をいただいた。)	敬語について理解する。				(1) イ(ア)				○	○			84.5	0.2
	(3)	「背水の陣」の意味を正しく捉えて使っている発言者を選ぶ。	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う。				1 (1) イ(ウ)				○	○			58.9	1.0
	(4)	① 「青い」の品詞として適切なものを選ぶ。	単語の類別について理解する。				1 (1) イ(エ)				○	○			59.3	0.6
② 「青さ」の品詞として適切なものを選ぶ。		単語の類別について理解する。				1 (1) イ(エ)				○	○			25.4	0.8	
4	(1)	文章の中にあてはまる接続詞として適切なものを選ぶ。	接続詞の働きについて理解する。				1 (1) イ(エ)				○	○			84.0	0.4
	(2)	指示語の内容をとらえうえて、文章の内容として適切なものを選ぶ。	文章の表現に即して内容を捉える。			イ				○	○			70.5	0.5	
	(3)	都会と田舎の違いについて、文章で説明されていることをまとめたものとして適切なものを選ぶ。	文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える。			イ				○	○			49.9	0.7	
	(4)	6・7段落の役割に着目して、段落どうしの関係について適切なものを選ぶ。	文章の構成や展開について自分の考えをまとめる。			ウ				○	○			51.5	0.9	
	(5)	文章で述べられている筆者の考えと一致するものを選ぶ。	文章の展開に即して要旨を捉える。			1イ				○	○			54.5	2.5	
5	(1)	「心は、テントのてっぺんから空に吸い込まれ、宇宙の彼方へと旅をする」の意味として適切なものを選ぶ。	描写の効果を考え、内容を理解する。			イ				○	○			58.3	0.9	
	(2)	「僕」の発言の理由として適切なものを選ぶ。	登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する。			イ				○	○			73.2	0.9	
	(3)	文章に関する話し合いにあてはまる言葉として適切なものを選ぶ。	登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する。			イ				○	○			62.1	1.1	
	(4)	文章の表現についての説明として適切なものを選ぶ。	比喩の用い方について、自分の考えをまとめる。			ウ				○	○			61.6	1.2	
6	(1)	【資料A】と【資料B】のまとめ方の違いの説明として適切なものを選ぶ。	文章の表現の仕方について考える。			ウ				○	○			73.5	1.5	
	(2)	① 【資料A】と【資料B】の内容の相違点として適切なものを選ぶ。	目的に応じて必要な情報を読み取る。			1カ				○	○			63.0	2.4	
		② 【資料A】と【資料B】を読み比べて、状況に応じた適切な方法とその理由を書く。	自分の意見が相手に効果的に伝わるように説明や具体例を加えて書く。			ウ				○		○			74.6	10.2
7		9行から11行(161字から220字)の間で書く。	指定された文字数で書く。			イ・ウ				○				72.4	13.2	
		3段落構成で書く。	3段落構成で文章を書く。			イ・ウ				○				70.5	13.2	
		第1段落に「Aのポスターの特徴」を書く。	読み取った内容を明確にして書く。			イ・ウ				○				83.0	13.2	
		第2段落に「Bのポスターの特徴」を書く。	読み取った内容を明確にして書く。			イ・ウ				○				74.1	13.2	
		第3段落にAとBのポスターのうち、どちらが効果的だと思うか、「自分の考え」を書く。	自分の考えを明確にして書く。			イ・ウ				○				72.3	13.2	

【中学校国語における成果と課題】

	第1学年			第2学年		
	種・態	問題番号	出題のねらい	種・態	問題番号	出題のねらい
成果	伝	②(1) 288.5%	文脈に即して漢字を正しく読むこと (悪事を裁く。)	話	①(2) 94.3%	話の論理的な構成や展開に注意して 聞くこと
	伝	③(1) 83.8%	文節について理解すること	伝	②(1) 293.3%	文脈に即して漢字を正しく読むこと (事故に遭った。)
	伝	③(3) 89.4%	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して 読むこと	伝	③90.8%	文脈に即して漢字を正しく読むこと (苦勞を惜しまない。)
課題	伝	③(2) 42.4%	単語の類別について理解すること	話	①(4) 46.9%	話の要点を聞き取ること
	読	⑤(4) 40.0%	文章の表現の特徴について自分の考え を持つこと	伝	③(4) 225.4%	単語の類別について理解すること
	書	⑥(3) 32.3%	自分の考えを根拠を明確にして書くこと	読	④(4) 51.5%	文章の構成や展開について自分の考え をまとめること

【領域・内容】 話：話すこと・聞くこと、書：書くこと、読：読むこと、伝：伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

今後さらに重点となる指導改善のポイント

ポイント1

文法の学習を通して学んだことを、他の領域や日常生活と関係付けながら、言葉のきまりや特徴に気付けさせる指導の充実

○文法の学習については、特定の事項だけを取り上げて繰り返し指導するだけでなく、生徒が日常の言語活動の中にある言葉の特徴やきまりなどに気付くことや、学習したことを日常の話したり聞いたり書いたり読んだりする場面に生かすことを意識しながら学習できるような工夫をすることが大切です。

ポイント2

聞き取ったり読み取ったりした情報と情報の関係について理解し、整理したり説明したりする指導の充実

○聞き取ったり読み取ったりした情報と情報が原因と結果、意見と根拠、具体と抽象などの関係で結び付いていることを理解させるために、比較や分類、関係付けなどの整理の仕方について指導することが重要です。聞き取ったり読み取ったりした情報について話したり書いたりする場面を設定するなど言語活動の工夫をすることが大切です。

ポイント3

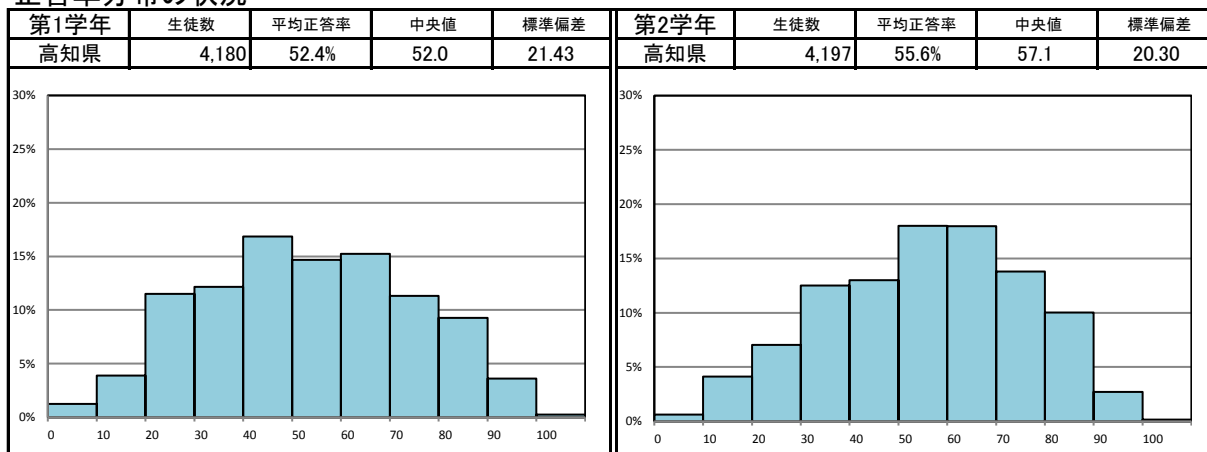
話や文章の中で使いこなせる語句を増やす指導の充実

○意味を理解している語句の量を増やすだけでなく、話や文章の中で使いこなせる語句を増やし、また、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の領域の学習で意識的に使う場を設定する、といったアウトプットの場の設定の工夫を行うことが重要です。

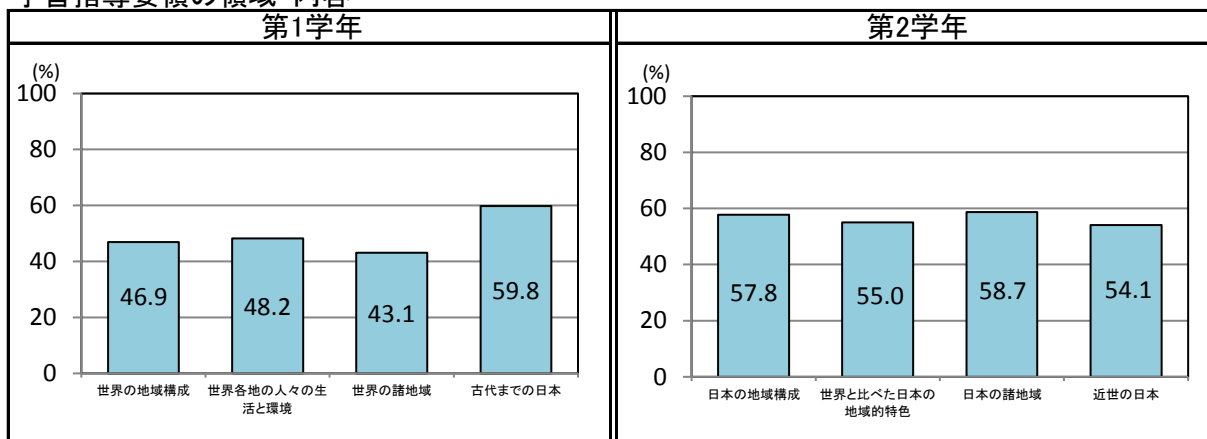
(5) 中学校社会

【分類・区別の状況】

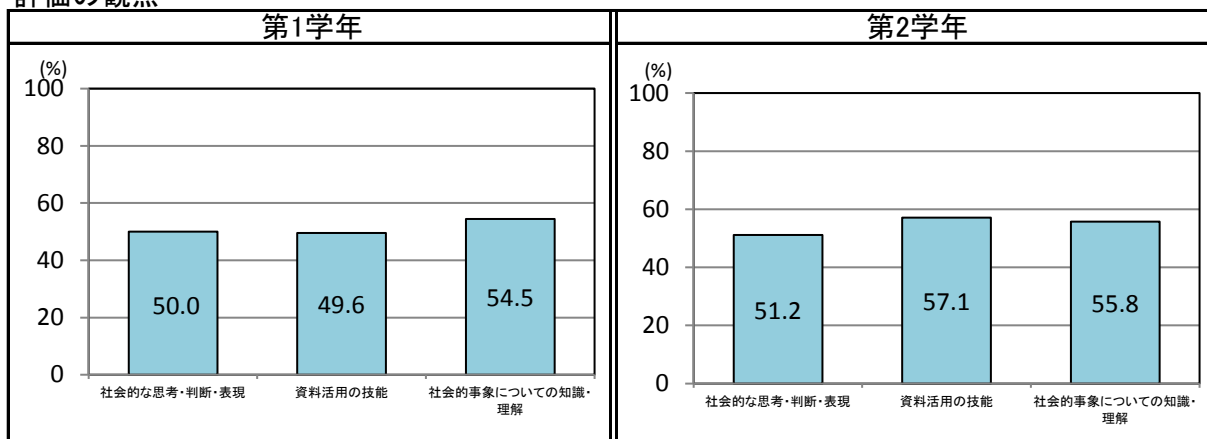
正答率分布の状況



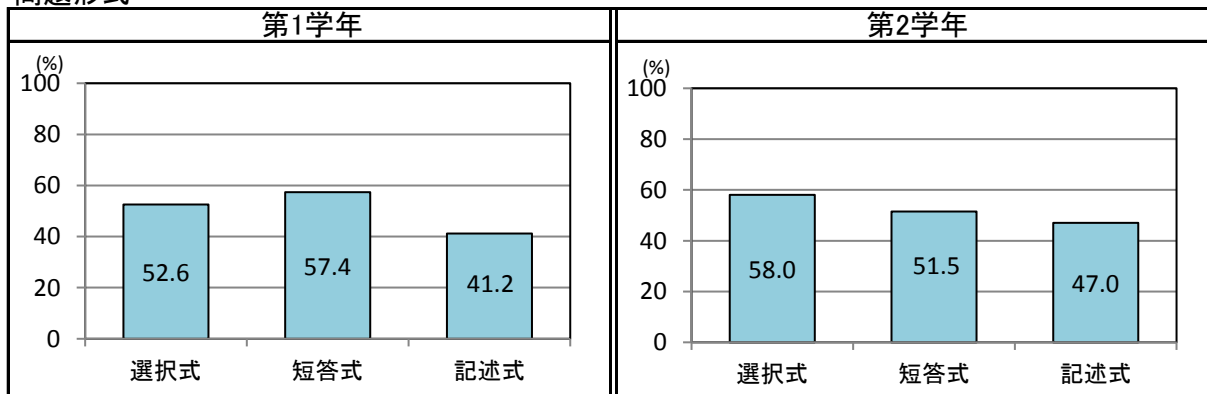
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



【設問別正答率】中学校調査（第1学年:社会）

大問	小問	問題番号	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等			評価の観点			問題形式			高知県		
					世界の様々な地域	歴史のとらえ方	古代までの日本	断・社会的な表現	資料活用	社会的知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	
1		(1)	世界地図中の地点について、緯度・経度を正しく表しているものを選ぶ。	地球上の位置を緯度と経度を用いて読み取ることができる。	(1)ア				○		○			40.9	0.3	
		(2)	世界地図中の大陸が属している州の名称を書く。	世界の大陸の分布と地域区分について理解している。	(1)ア					○		○		58.5	4.2	
		(3)	中心からの距離と方位の正しい地図を基に、東京からの直線距離がカイロとほぼ等しい都市を選ぶ。	中心からの距離と方位の正しい地図の特色を基に、地球上の位置を読み取ることができる。	(1)ア				○		○			41.5	1.3	
2		①	世界各地の伝統的な住居について、写真と地域の組み合わせとして適切なものを選ぶ。	人々の生活の工夫と自然条件を関連付けて捉えることができる。	(1)イ				○		○			53.6	0.6	
		②	世界各地の生活の様子について説明した資料にあてはまる地域を選ぶ。	資料から山岳地域の人々の生活の特色を読み取ることができる。	(1)イ				○		○			43.7	1.6	
		(2)	イスラム教を信仰している人々の生活習慣について、複数の資料を基に説明する。	複数の資料を基に、世界の主な宗教に関する生活習慣について説明することができる。	(1)イ				○			○		41.7	23.0	
3		(1)	アジア州の気候に影響を及ぼす風の名称を書く。	アジア州の気候に影響を及ぼす自然的条件について理解している。	(1)ウ(ア)						○		○	62.5	7.8	
		(2)	東南アジアの国々によって結成された、経済的な結びつきを強めている組織の名称を書く。	経済発展につながる事象を基に、アジア州の地域的特色について理解している。	(1)ウ(ア)						○		○	25.2	18.9	
		(3)	ヨーロッパ州にみられる、EU加盟国間の国境の資料を選び、そのように判断した理由を説明する。	複数の資料を基に、EU（ヨーロッパ連合）の統合の進展と人々の生活について考察し、説明することができる。	(1)ウ(イ)				○				○	34.2	4.7	
		(4)	ヨーロッパ州の農業について、特徴と地域の組み合わせとして適切なものを選ぶ。	ヨーロッパ州の農業についての知識を基に、地域的特色を判断することができる。	(1)ウ(イ)				○			○		39.7	0.9	
		(5)	複数の資料を基に、アフリカ州で栽培がさかんな農産物の説明として適切でないものを選ぶ。	アフリカ州の農業における特色について、複数の資料を基に判断することができる。	(1)ウ(ウ)				○			○		44.6	0.7	
		(6)	複数の資料を基に、北アメリカ州の農業と気候に関する説明として適切なものを選ぶ。	北アメリカ州の気候と農産物の生産分布の地域的特色を捉えることができる。	(1)ウ(エ)						○		○	52.2	1.1	
4		(1)	中国の文明の説明として適切なものを選ぶ。	世界の古代文明について理解している。			(2)ア				○		○	63.8	0.8	
		(2)	金印を授かった国が漢に使いを送った目的として適切なものを選ぶ。	東アジアの国々と日本の関わりについて理解している。			(2)ア				○		○	49.9	0.9	
		(3)	邪馬台国の女王で、魏へ使いを送った人物の名称を書く。	東アジアの国々と日本の関わりについて理解している。			(2)ア				○		○	81.9	5.5	
		(4)	古墳の分布を示した資料を基に、当時の様子の説明として適切なものを選ぶ。	大和地方を中心に国内が統一されたことと、古墳の広まりとの関わりについて捉えることができる。			(2)ア		○			○		81.5	0.8	
5		(1)	聖徳太子が冠位十二階の制度を定めた目的として適切なものを選ぶ。	聖徳太子の政治について理解している。			(2)イ				○		○	70.6	1.0	
		(2)	①	平城京について説明した文章中の空欄に共通してあてはまる語句を書く。	律令国家の成立に至るまでの過程について理解している。			(2)イ				○		○	61.7	12.3
			②	710年が何世紀にあたるかを書く。	年代の表し方を習得している。	(1)ア				○			○		54.8	5.3
		(3)	聖徳太子が私財法が定められた結果、起きたこととして適切なものを選ぶ。	律令国家の成立に至るまでの過程のなかで、聖徳太子私財法による影響について判断することができる。			(2)イ		○			○		47.5	1.0	
		(4)	奈良時代と平安時代に活躍した僧の組み合わせとして適切なものを選ぶ。	仏教の伝来とその影響について理解している。			(2)ウ				○		○	54.2	0.9	
(5)	平等院鳳凰堂がつくられた理由と最も関係が深いものとして適切なものを選ぶ。	古代までの日本について、資料を基に政治の展開や文化の影響を捉えることができる。			(2)イ、ウ		○			○		38.3	1.3			
6		(1)	現在の福岡県に水城がつくられた目的を、複数の資料を基に説明する。	東アジアと日本の関わりについて、複数の資料を基に考察し、説明することができる。			(2)ア		○				○	47.8	25.5	
		(2)	アジア州のある国の特色を複数の資料を基に推測し、説明して適切なものを選ぶ。	日本と比較した複数の資料を基に、アジア州のある国の食に関する特色について、考察することができる。	(1)ウ(ア)				○			○		53.7	1.7	
		(3)	平城京の貴族や庶民の様子について、複数の資料を基に生じる疑問として適切なものを選ぶ。	国家の仕組みが整えられ、天皇や貴族の政治が展開した過程について、複数の資料を基に、学習課題を設定することができる。			(2)イ		○			○		65.3	2.0	

【設問別正答率】中学校調査（第2学年:社会）

問題番号		問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点			問題形式			高知県	
大問	小問			世界の様々な地域	日本の様々な地域	歴史のつらえ方	近世の日本	断・表的な現象	資料活用・技能	社会的な事象についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)
1	(1)	① 日本の国土の範囲と緯度も経度も異なる大陸の名称を書く。	世界地図を基に、日本と世界各地との位置関係を読み取ることができる。		(2)ア				○		○		47.8	6.1	
		② 日本の国土のうち、北緯20度線に最も近い島を選ぶ。	世界地図を基に、日本の国土の位置を捉えることができる。		(2)ア				○		○		70.0	0.3	
		③ 排他的経済水域が海岸線から何海里以内の海と定められているかを書く。	排他的経済水域について理解している。		(2)ア					○		○		72.0	4.9
(2)		世界各国の標準時と時差を示した資料を基に、イラクの標準時を示す経度と時刻として適切なものを選ぶ。	地図を活用し、日本と世界各地との時差を読み取ることができる。		(2)ア				○		○		41.3	0.3	
2	(1)	世界と日本のエネルギーに関する説明として適切なものを選ぶ。	世界や日本の資源・エネルギーに関する現状について理解している。		(2)イ(ウ)					○	○		54.1	0.4	
	(2)	日本国内の特色ある地形について、地形図とその名称の組み合わせとして適切なものを選ぶ。	日本の地形の特色について、地形図を基に捉えることができる。		(2)イ(ア)					○	○		61.9	0.3	
	(3)	① 地図中に示した気候帯の特色として適切なものを選ぶ。	世界各地の自然環境について理解している。	(1)イ						○	○		59.9	0.3	
		② 平均気温と降水量のグラフが、地図中の中の都市のものであるかを選ぶ。	気温と降水量のグラフを基に、世界や日本の気候の特色とその分布について読み取り、判断することができる。	(1)イ					○				42.4	0.8	
3	(1)	西日本にある河川の名称の組み合わせとして適切なものを選ぶ。	地域を特色付ける自然環境について理解している。		(2)ウ(ア)					○	○		57.8	0.6	
	(2)	地図中に示した県庁所在地のうち、人口が最も少ない都市を選ぶ。	地域を特色付ける人口の分布について捉えることができる。		(2)ウ(オ)					○	○		70.8	2.4	
	(3)	① 大阪府を中心に広がる工業地帯の名称を書く。	地域を特色付ける産業について理解している。		(2)ウ(ウ)						○	○		63.0	11.2
		② 九州地方の各地で、高速道路や空港の整備と関連して生産されるようになった電子部品の名称を書く。	地域を特色付ける産業について理解している。		(2)ウ(ウ)						○	○		42.0	16.8
	(4)	沖縄県の多くの家の屋上に給水タンクがつけられている理由を、複数の資料を基に自然環境の観点から説明する。	沖縄県の自然環境に関する特色について、資料を関連付けて、考察し説明することができる。	(2)ウ(ア)					○			○	60.0	5.1	
4	(1)	カトリック教会を風刺する絵の説明にあてはまる改革の名称を書く。	宗教改革によるキリスト教世界の動きについて理解している。		(4)ア					○	○		29.4	33.5	
	(2)	鉄砲の伝来についての説明として適切なものを選ぶ。	ヨーロッパ人の来航とその影響について理解している。		(4)ア					○	○		34.6	0.6	
	(3)	① 豊臣秀吉の太閤検地についての説明として適切なものを選ぶ。	資料から検地などの政策によって、中世までとは異なる社会が生まれたことを捉えることができる。		(4)ア					○	○		84.4	0.6	
		② 豊臣秀吉に関連する人物の名前を選ぶ。	織田・豊臣による統一事業について理解している。	(4)ア						○	○		89.4	0.8	
	(4)	① 1609年が何世紀にあたるかを書く。	年代の表し方を習得している。	(1)ア						○		○		48.2	6.2
		② 武将や豪商の気風や経済力を背景とした文化の説明として適切なものを選ぶ。	武将や豪商の気風や経済力を背景とした文化が生み出されたことを理解している。	(4)ア							○	○		39.6	1.0
5	(1)	江戸時代に安定した社会が続いた理由について、複数の資料を基に関連する内容を選ぶ。	資料を基に、江戸時代の大名統制について考察することができる。	(4)イ				○		○		53.9	0.9		
	(2)	学習メモを基に、江戸幕府の対外政策について適切なものを選ぶ。	江戸幕府における鎖国政策について理解している。	(4)イ					○	○		69.3	1.0		
	(3)	徳川吉宗と田沼意次の政治を比較し、幕府の財政を立て直した政策の内容を書く。	幕府の政治改革を比較し、相違点について説明することができる。	(4)エ				○			○		58.0	11.1	
	(4)	江戸時代に発生した百姓一揆に関連する資料を選ぶ。	幕府の政治改革と百姓一揆などに結びつく農村の変化について、資料を関連付けることができる。	(4)エ					○		○		60.2	0.9	
	(5)	江戸時代に日本が結んだ条約について、関連する国の名称を選ぶ。	外国船の接近について、資料を読み取ることができる。	(4)エ					○		○		58.0	1.0	
	(6)	江戸時代に発展した学問について、正しい内容の組み合わせとして適切なものを選ぶ。	江戸時代に発展した新しい学問・思想の動きについて考察することができる。	(4)エ					○		○		40.7	1.4	
6	(1)	鳥取砂丘とサハラ砂漠に関する複数の資料を比較し、分かることについての説明として適切なものを選ぶ。	世界的視野から日本の地形や気候の特色について、資料を基に、考察することができる。	(2)イ(ア)					○		○		56.9	1.3	
	(2)	現在の鳥取県倉吉市で千歯こきの生産がさかんになった理由を、複数の資料を基に説明する。	江戸時代の農業の発達について、複数の資料を関連付けて説明することができる。	(4)ウ					○		○		34.0	19.5	
	(3)	複数の資料を基に、江戸時代の生活の様子として分かることについて適切なものを選ぶ。	江戸幕府の政治の特色について、複数の資料を関連付けて考察することができる。	(4)イ					○		○		56.9	1.8	

【中学校社会における成果と課題】

	第1学年			第2学年		
	領域	問題番号	出題のねらい	領域	問題番号	出題のねらい
成果	世界	④ (3) 81.9%	東アジアの国々と日本の関わりについて理解すること	日本	① (1) ③ 72.0%	排他的経済水域について理解すること
	世界	(4) 81.5%	大和地方を中心に国内が統一されたことと、古墳の広まりとの関わりについて捉えること	近世	④ (3) ① 84.4%	資料から検地などの政策によって、中世までとは異なる社会が生まれたことを捉えること
	世界	⑤ (1) 70.6%	聖徳太子の政治について理解すること	近世	② 89.4%	織田・豊臣による統一事業について理解すること
課題	世界	③ (2) 25.2%	経済発展につながる事象を基に、アジア州の地域的特色について理解すること	近世	④ (1) 29.4%	宗教改革によるキリスト教世界の動きについて理解すること
	世界	(3) 34.2%	複数の資料を基に、EU（ヨーロッパ連合）の統合の進展と人々の生活について考察し、説明すること	近世	(2) 34.6%	ヨーロッパ人の来航とその影響について理解すること
	世界	⑤ (5) 38.3%	古代までの日本について、資料を基に政治の展開や文化の影響を捉えること	近世	⑥ (2) 34.0%	江戸時代の農業の発達について、複数の資料を関連付けて説明すること

【領域・内容】 世界：世界の様々な地域 日本：日本の様々な地域 歴史：歴史のとらえ方 古代：古代までの日本 近世：近世の日本

今後さらに重点となる指導改善のポイント

ポイント1

課題を追究したり解決したりする活動の充実

- 課題設定の場面では、生徒が見通しを持ち、主体的に取り組める学習課題を設定できるよう、単元で扱う社会的事象を多面的・多角的に捉えることのできる資料等の提示を行うことが大切です。
- 課題を追究したり解決したりする過程では、必要な資料を生徒に収集・選択させたり、その情報や史実を根拠にして、複数の資料を関連付けながら、自分の考えを他者と協議し、自分の考えを深めるための思考の場面を設定するとともに、その学習活動を見取るために設定した評価規準が妥当であるのかを確認することも大切です。

ポイント2

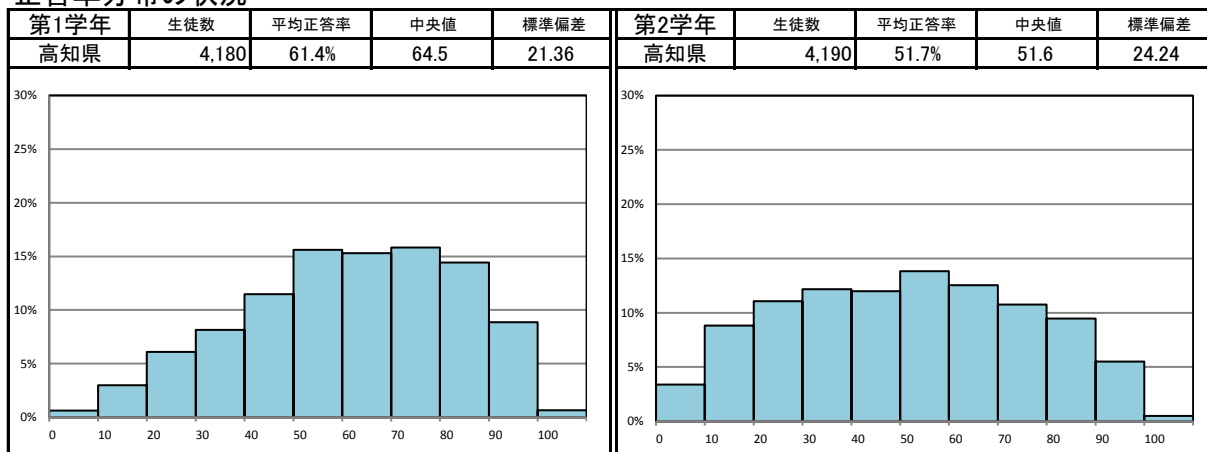
学習課題を生徒の生活経験と結び付け、「自分事」にする指導の工夫

- 現実社会に起こる社会的事象について、それは、「なぜ存在しているか」、「それをどのように捉えるのか」、「それとどのように関わるのか」、「それにどのように働きかけるのか」といったことを問うなかで、それらの問いの解決に向けて自分の考えや意見をまとめ、説明したりする学習などを行うことが大切です。

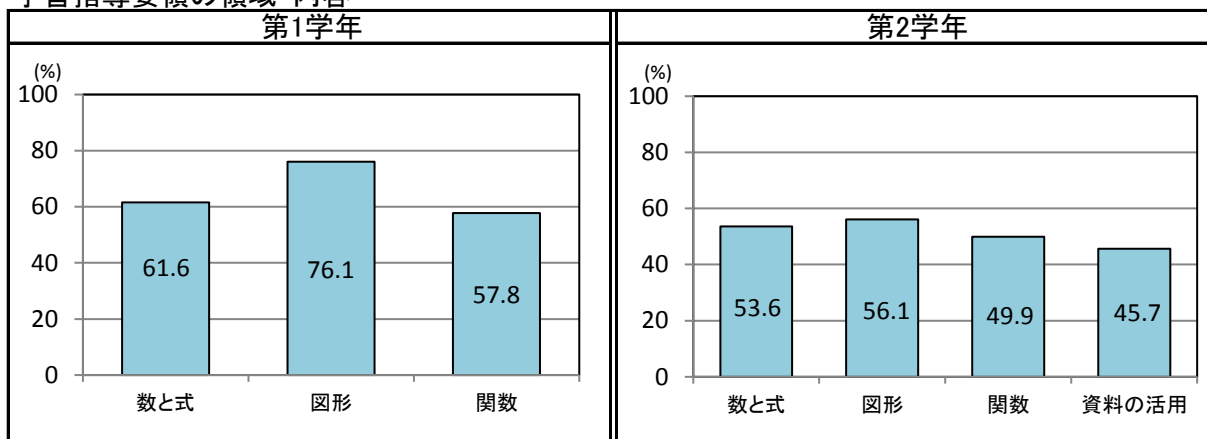
(6) 中学校数学

【分類・区別の状況】

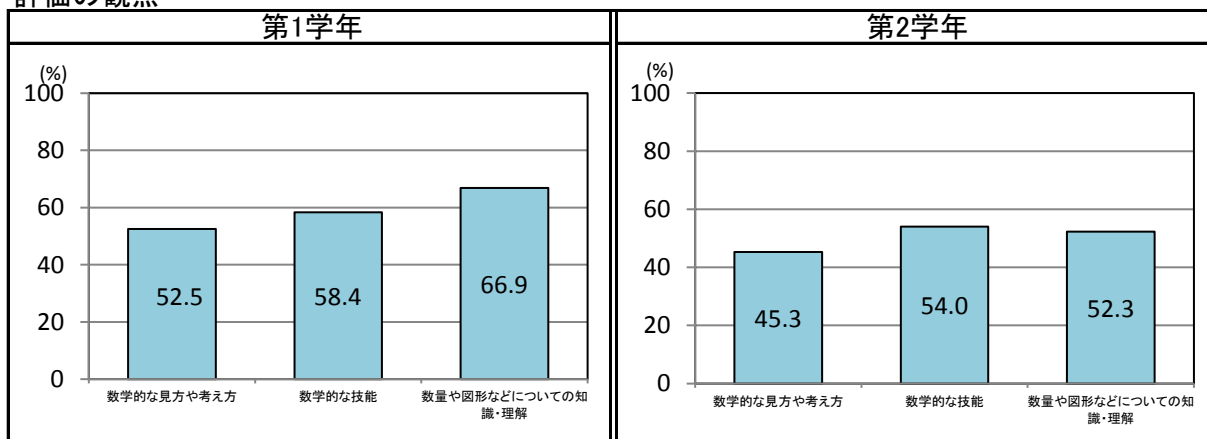
正答率分布の状況



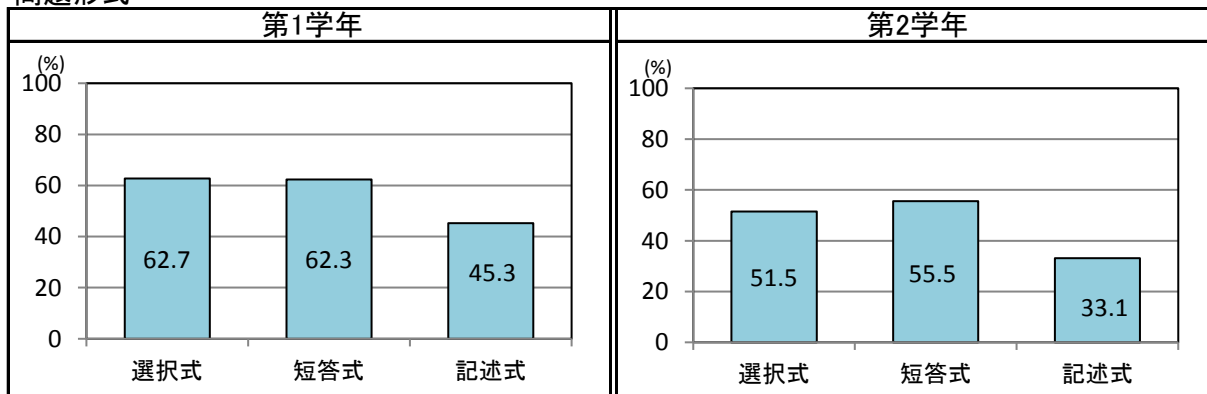
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



【設問別正答率】中学校調査（第1学年：数学）

大問	小問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点			問題形式			高知県		
				数と式	図形	関数	資料の活用	考え方の数学的な見方や	数学的な技能	数量や図形などに関する知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	
1	(1)	数直線上に表された点Aが、 -98 を表していることを読み取る。	数直線上の点が表示数値の読み取り方を理解している。	(1)ア						○	○			85.7	0.4	
	(2)	今日の水位が1週間前の水位からどれだけ高くなったかを求める式を選ぶ。	ある基準に対して反対の方向や性質をもつ数量が正の数と負の数で表されることを理解している。	(1)ア,エ						○	○			57.2	0.2	
	(3)	$-3, 0, -7$ を、小さいほうから順に並べたものを選ぶ。	3つの正負の数の大小関係を理解している。	(1)ア						○	○			87.1	0.1	
	(4)	-4 の絶対値を答える。	絶対値について理解している。	(1)ア						○	○			82.8	2.6	
2	(1)	$11 - (-7)$ を計算する。	正負の数の減法ができる。	(1)ウ					○		○			76.4	1.7	
	(2)	$(-2)^2 \times 8$ を計算する。	累乗を含む正負の数の乗法ができる。	(1)ウ					○		○			76.0	1.6	
3		走り幅跳びの記録の平均を、目標の記録を基準にして正負の数で表した表から求める。	基準との差を正負の数で表した表から平均を求めることができる。	(1)エ					○		○			32.5	3.9	
4	(1)	$5a - a$ を計算する。	同類項をまとめることができる。	(2)ウ					○		○			67.9	2.4	
	(2)	$(x+6) - (2x-4)$ を計算する。	一次式の減法ができる。	(2)ウ					○		○			35.5	4.4	
5	(1)	$a \div 5 - b \times (-1)$ を、文字式の表し方にしたがって表した式を選ぶ。	文字式の表し方を理解している。	(2)イ						○	○			43.4	0.4	
	(2)	120円のプリンを x 個買うために、1000円出したときのおつりの金額を表す式を選ぶ。	ある数量を文字式で表すことができる。	(2)エ					○		○			77.4	0.3	
	(3)	縦が a cm、横が b cmの長方形の面積が 36cm^2 以下のときの数量の関係を表した不等式を選ぶ。	数量の間の関係を不等式に表すことができる。	(2)エ						○		○			58.8	0.4
6		一次方程式を解くときの、移項の意味を選ぶ。	等式の性質と移項の関係を理解している。	(3)イ						○	○			63.4	0.4	
7	(1)	一次方程式 $8x - 2 = 5x - 11$ を解く。	簡単な一次方程式を解くことができる。	(3)ウ					○		○			71.0	5.1	
	(2)	比例式 $7 : 4 = x : 10$ を解き、 x の値を選ぶ。	比例式を解くことができる。	(3)ウ					○		○			54.9	1.3	
8	(1)	ジュースを姉と弟で5:4になるように分けるときについて、数量の間の関係を表した比例式を選ぶ。	具体的な事象における数量の関係をとらえ、その関係を比例式で表すことができる。	(3)ウ					○		○			48.0	0.4	
	(2)	ノートを何人かの生徒に配るときについて、生徒の人数を x 人として、一次方程式をつくる。	具体的な事象における数量の関係をとらえ、一次方程式を立式することができる。	(3)ウ					○		○			49.8	16.3	
9	(1)	座標平面上に表された点Aの座標 $(-3, 2)$ を選ぶ。	座標の意味を理解している。	(1)ウ						○	○			87.2	0.3	
	(2)	y が x の関数である事象を選ぶ。	関数の意味を理解している。	(1)ア						○	○			34.4	0.5	
10	(1)	比例 $y = -2x$ の x, y の値の関係について、正しく説明したものを選ぶ。	比例の関係について理解している。	(1)イ						○	○			43.7	0.4	
	(2)	反比例 $y = \frac{12}{x}$ の x, y の値の関係について、正しく説明したものを選ぶ。	反比例の関係について理解している。	(1)イ						○	○			50.2	0.7	
11	(1)	比例の関係を表す表を読み取り、その関係を式で表したものを選ぶ。	表を読み取り、比例の関係にある x と y を式に表すことができる。	(1)エ					○		○			75.0	0.4	
	(2)	y は x に反比例し、 $x = -4$ のとき $y = 2$ である関係を表した式を選ぶ。	反比例の関係にある x と y を式に表すことができる。	(1)エ					○		○			58.1	0.8	
12		$\triangle ABC$ を直線 l を対称の軸として対称移動した図を選ぶ。	対称移動について理解している。	(1)イ						○	○			79.4	1.0	
13		$\triangle ABC$ を、点Cを中心として時計まわりに 90° だけ回転移動させた図を選ぶ。	回転移動について理解している。	(1)イ						○	○			72.8	1.1	
14	(1)	① ロンドンを基準にして正負の数で表された時差から、東京の時刻を求める。	与えられた情報から必要な情報を選択し処理することができる。	(1)エ					○		○			58.5	6.0	
		② ロンドンとバンクーバーの時刻から、ロンドンを基準にしたときの時差を表す。	与えられた情報から必要な情報を選択し事象に即して処理することができる。	(1)エ					○		○			38.6	7.9	
	(2)	ロンドンを基準にしたときの時差を利用して、東京を基準にしたときのモスクワの時刻を求める方法を説明する。	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。	(1)エ					○		○			67.3	15.2	
15	(1)	長縄跳びの練習の記録を表す表とグラフから、1回目の記録がグラフのどの点かを選ぶ。	与えられた表やグラフから必要な情報を読み取ることができる。	(1)オ						○	○			75.2	2.8	
	(2)	① 原点と記録を表すすべての点が一直線上にあるとみなしたことから、回数は時間に比例していると指摘する。	事象を理想化、単純化して表された直線のグラフから、2つの数量の関係が比例の関係であることを理解している。	(1)オ						○		○			72.9	12.6
		② 回数が時間に比例するとし、300秒で跳べる回数を式などを用いて予想する方法を説明する。	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。	(1)オ					○			○			23.4	27.5

【設問別正答率】中学校調査（第2学年：数学）

大問	小問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点			問題形式			高知県	
				数と式	図形	関数	資料の活用	考え方の数学的な見方や	数学的な技能	数量や図形などに関する知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)
1	(1)	連続する3つの偶数のうち、もっとも小さい偶数を $2n$ とするときの、真ん中の偶数を表した式を選ぶ。	数量の関係や法則などを文字式で表すことができる。	(1)イ					○		○			40.3	0.7
	(2)	等式 $5x - y = 7$ を y について解く。	等式を目的に応じて変形することができる。	(1)ウ					○		○			57.0	8.0
2	(1)	$11a + 4b - 5a + 3b$ を計算する。	2つの文字を含む式の、同類項をまとめる計算ができる。	(1)ア					○		○			87.5	2.5
	(2)	$48ab^2 \times (-a) \div 3b$ を計算する。	単項式の乗除の混じった計算ができる。	(1)ア					○		○			49.5	9.3
3	(1)	連立方程式($x + y = 7$, $3x + 4y = 26$)を解く。	簡単な連立方程式を解くことができる。	(2)ウ					○		○			75.0	7.8
	(2)	連立方程式($8x + 9y = 4$, $y = -x + 1$)を解く。	代入法の原理を理解し、それを使って連立方程式を解くことができる。	(2)ウ					○		○			58.4	16.7
4		自転車と三輪車の総数とタイヤの総数から、それぞれの台数を求めるための連立方程式をつくる。	2つの数量に着目し、連立二元一次方程式を立式することができる。	(2)ウ					○		○			52.8	13.8
5		与えられたシュークリームとプリンの個数と代金の関係から、それぞれの1個の値段を求める。	連立方程式を利用し、文章問題を解くことができる。	(2)ウ				○			○			60.1	16.3
6		示された4つの一次関数の式とグラフを関連付けて読み取り、1つのグラフの式を選ぶ。	一次関数について、グラフと式を関連付けて理解している。			(1)イ				○	○			59.1	0.8
7	(1)	一次関数の関係を表す表を読み取り、その関係を式で表したものを選ぶ。	一次関数の関係を表す表から一次関数の式を求めることができる。			(1)イ			○		○			45.7	1.0
	(2)	一次関数 $y = 2x + 3$ のグラフに平行で、点(6, 7)を通る直線の式を選ぶ。	傾きと1点の座標から一次関数の式を求めることができる。			(1)イ			○		○			49.2	2.3
8	(1)	直線 l が y 軸に平行な直線であることを読み取り、 y 軸に平行な直線の式を選ぶ。	y 軸に平行な直線の式を求めることができる。			(1)ウ			○		○			65.7	0.9
	(2)	一次関数 $y = -2x + 7$ のグラフと一次関数 $y = -4x + 5$ のグラフの交点の座標を選ぶ。	2直線の交点の座標を求めることができる。			(1)ウ			○		○			50.5	2.2
9		二元一次方程式の解を座標とする点の全体を表したものを選ぶ。	二元一次方程式の解を座標とする点の集合は、直線として表されることを理解している。			(1)ウ				○	○			48.7	1.1
10		150L入った浴そうから毎分4Lずつ x 分間水を抜いたときの残量 y Lについて、 y を x の式で表す。	具体的な事象における2つの数量の関係を、一次関数の式に表すことができる。	(1)ア					○		○			47.8	15.0
11		姉弟のマラソン大会の様子を表すグラフを基に、2人の道のりが同じになった時間を読み取ることができる。	グラフから必要な情報を読み取り、事象を数学的に解釈することができる。			(1)エ			○		○			37.4	2.6
12	(1)	示された五角形の外角の大きさを求める。	多角形の角の大きさを求めることができる。	(1)イ					○		○			64.0	4.5
	(2)	平行線の間にある角の大きさを求める。	平行線や角の性質を用いて、角の大きさを求めることができる。	(1)ア					○		○			73.0	5.5
13		多角形の外角について、正しく説明したものを選ぶ。	多角形の外角とその和について理解している。	(1)イ						○	○			67.3	0.9
14		三角形の内角の和が 180° であることの証明について正しい記述を選ぶ。	証明の必然性と意味を理解している。	(2)イ						○	○			36.3	1.5
15		三角形の合同の証明で、対頂角が等しいことを記述する部分を補完し、証明を完成させる。	図形の中での等しい関係を根拠を基に説明することができる。	(2)イ				○			○			40.0	16.8
16	(1)	立ち幅跳びの記録を整理した度数分布表から、ある階級の相対度数を求める。	度数分布表から、階級の相対度数を求めることができる。				1 (1)ア		○		○			34.1	16.9
	(2)	生徒25人が50m走を行い、記録の平均値が7.2秒だったことについて、必ずいえることを選ぶ。	平均値について理解している。				1 (1)ア			○	○			77.5	2.1
	(3)	サッカーシューズのサイズ別の1か月の売り上げ表から、最頻値を求める。	与えられた資料における、最頻値を理解している。				1 (1)ア			○	○			39.7	17.7
	(4)	小数第2位で四捨五入したら5.0になる数の値の範囲を不等号を使って表したものを選ぶ。	ある数の真の値の範囲を理解している。				1 (1)			○	○			31.6	2.7
17	(1)	連続する3つの奇数の和についての予想が正しいことを、具体的な数を用いて指摘する。	事柄が成り立たない理由を説明する場面、反例をあげることで、その説明を完成することができる。	(1)イ					○		○			39.2	14.1
	(2)	連続する3つの奇数の和が3の倍数になることの説明を完成させる。	事柄が成り立つ理由を、構想を立てて説明することができる。	(1)イ					○		○			19.4	32.6
	(3)	連続する3つの偶数の和がどのような数になるか予想する。	発展的に考え、予想した事柄を説明することができる。	(1)イ					○		○			50.1	30.8
18	(1)	与えられた2つの店の情報を整理し、A店で写真を60枚プリントするときの料金を求める。	与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができる。			(1)エ			○		○			54.5	13.0
	(2)	枚数と料金を表したグラフの切片が、どのような数量を表しているかを選ぶ。	グラフの切片を事象に即して解釈することができる。			(1)エ			○		○			60.5	6.4
	(3)	枚数と料金を表したグラフから、写真を15枚注文したときの料金が安い店を判断する方法を説明する。	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。			(1)エ			○		○			29.9	26.7

【中学校数学科における成果と課題】

	第1学年			第2学年		
	領域	問題番号	出題のねらい	領域	問題番号	出題のねらい
成果	数	① (1) 85.7%	数直線上の点が表す数値の読み取り方を理解していること	数	② (1) 87.5%	2つの文字を含む式の、同類項をまとめる計算ができること
	数	(3) 87.1%	3つの正負の数の大小関係を理解していること	数	③ (1) 75.0%	簡単な連立方程式を解くことができること
	数	(4) 82.8%	絶対値について理解していること	資	⑫ (2) 77.5%	平均値について理解していること
課題	数	③ 32.5%	基準との差を正負の数で表した表から平均を求めることができること	資	⑫ (4) 31.6%	ある数の真の値の範囲を理解していること
	関	⑨ (2) 34.4%	関数の意味を理解していること	数	⑮ (2) 19.4%	事柄が成り立つ理由を、構想を立てて説明することができること
	関	⑮ (2)② 23.4%	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができること	関	⑮ (3) 29.9%	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができること

【領域・内容】 数：数と式、関：関数、資：資料の活用

今後さらに重点となる指導改善のポイント

ポイント1

知識・技能の確実な定着に向けての指導の充実

○計算練習や問題を解くことを繰り返させるだけでは、知識・技能の確実な定着は図れません。問題解決のために、既習の知識・技能をどのように活用するか考察したり、具体的事象に活用されている知識・技能には、どのようなものであるかを考察したりする場面を設定することで、知識・技能の意味的理解を図ることが大切です。

ポイント2

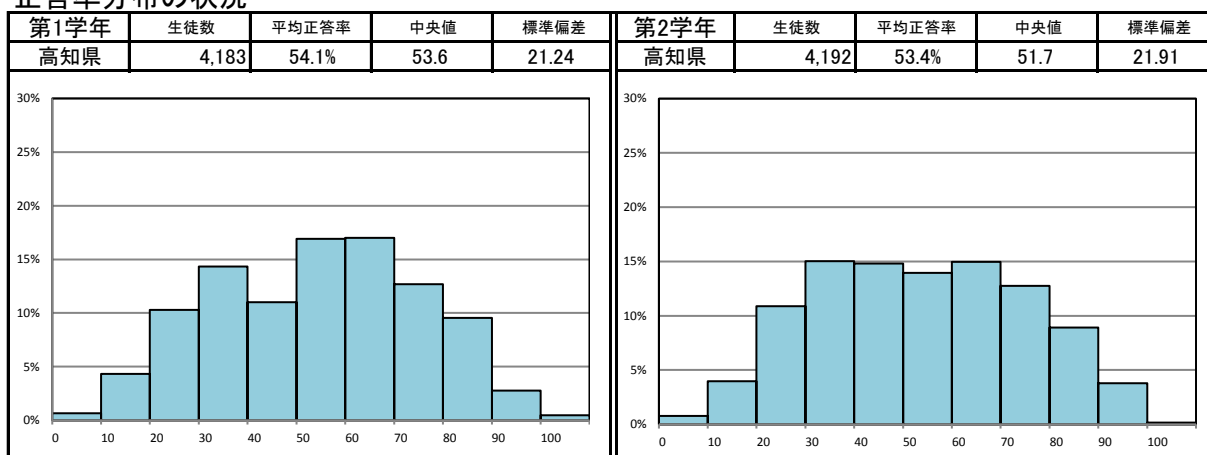
数学的活動における、説明の指導の充実

○授業において、予想やまとめを書くときに、前提を明確にして、結論を書いたり、他者と協同的に問題を解決したり、問題解決の過程を自ら振り返ったりする場面を設定することが大切です。その際、説明する必然性を生徒に実感させ、的確に記述できるように、説明を振り返り、よりよい表現に改善したり、ポイントをまとめたりする活動を通して、説明に対する評価を丁寧に行っていくことが重要です。

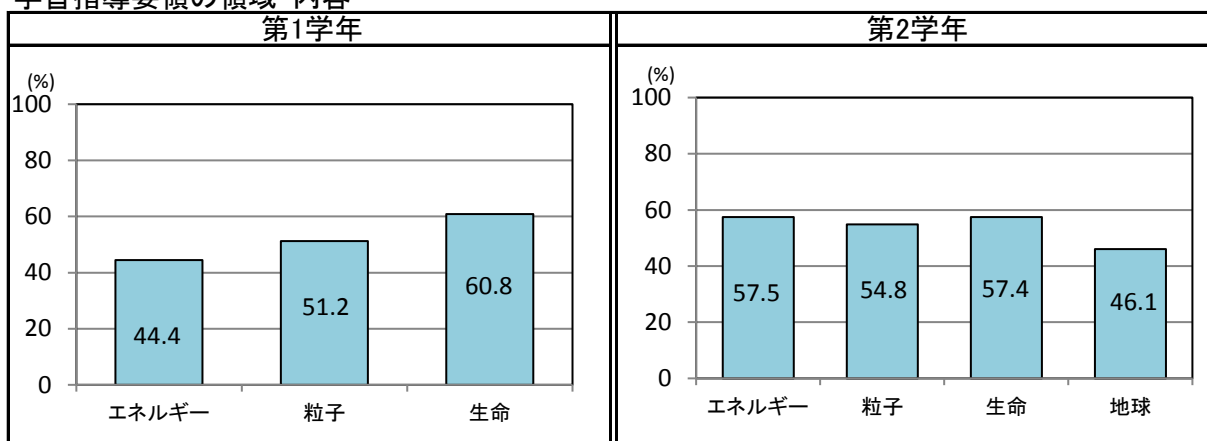
(7) 中学校理科

【分類・区別の状況】

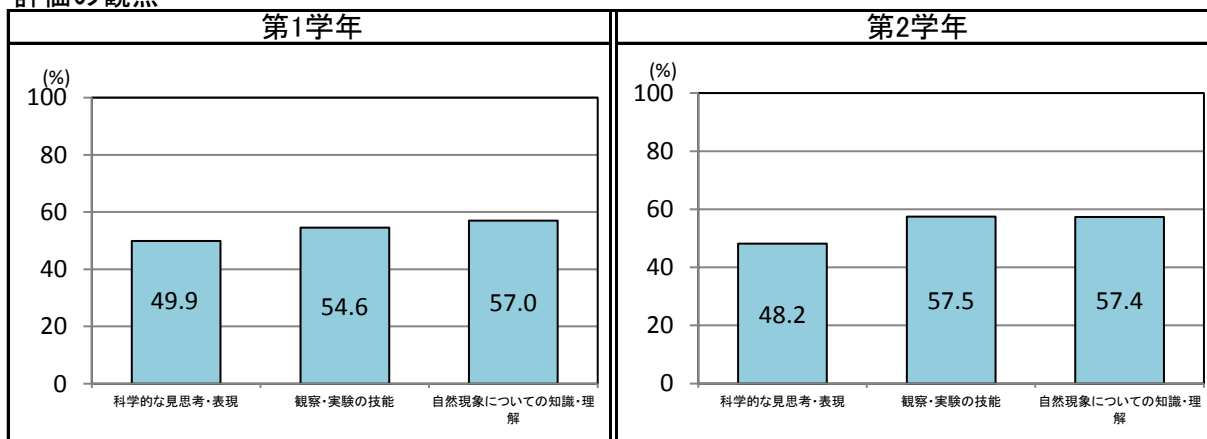
正答率分布の状況



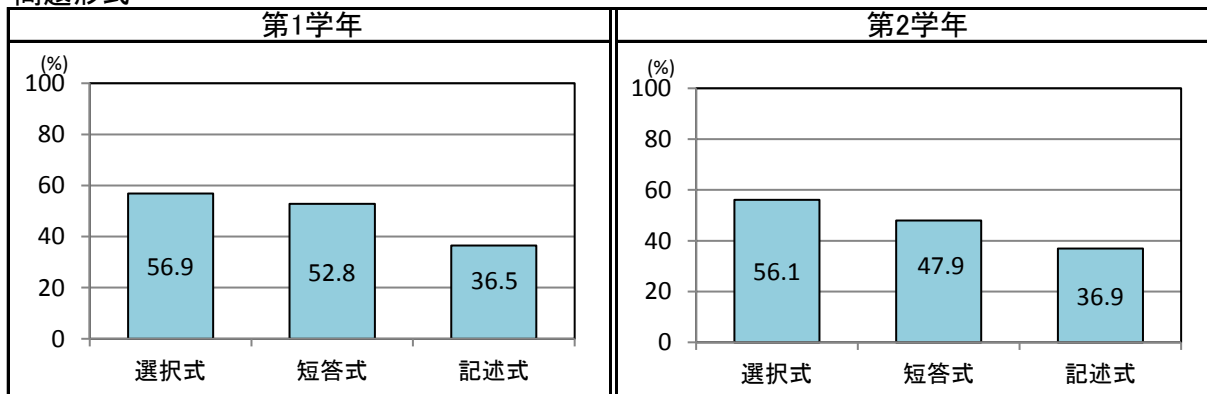
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



【設問別正答率】中学校調査（第1学年：理科）

大問	小問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点			問題形式			高知県	
				エネルギー	粒子	生命	地球	現科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然現象についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)
1	(1)	ヨウ素液の色の変化からデンプンができたことを書く。	ヨウ素デンプン反応の結果から、植物に日光が当たると、デンプンができることを指摘できる。			Ⅱ (1) イ (イ)				○		○		78.6	2.9
	(2)	デンプンがつくられる場所の名前を書く。	葉緑体で光合成が行われることを理解している。			Ⅱ (1) イ (イ)				○		○		61.0	9.6
	(3)	石灰水が変化しなかった理由を選ぶ。	植物のはたらきについて確かめる実験の結果を基に、光合成による二酸化炭素の吸収・放出について考察できる。			Ⅱ (1) イ (イ)		○			○			66.1	0.2
	(4)	光と葉のはたらきとの関係を探るための対照実験の条件を書く。	植物のはたらきと日光の関係を探るための対照実験を計画できる。			Ⅱ (1) イ (イ)		○				○		41.2	7.0
2	(1)	① 根から吸収した水の通り道の名前を書く。	茎の維管束のつくりとはたらきについて理解している。			Ⅱ (1) イ (イ)				○		○		68.7	8.6
		② 葉における水の通り道の場所を選ぶ。	葉の維管束のつくりとはたらきについて理解している。			Ⅱ (1) イ (イ)				○	○			32.4	0.4
	(2)	顕微鏡のピントを合わせるために操作した部分を選ぶ。	観察器具（顕微鏡）の適切な扱い方を身につけている。			Ⅱ (1) ア (ア)		○			○			71.7	0.3
	(3)	気孔の部分を塗る。	気孔について理解している。			Ⅱ (1) イ (イ)				○		○		47.5	2.4
3	(1)	根のつくりと植物のなかまの名前を選ぶ。	双子葉類と単子葉類の体のつくりの特徴について理解している。			Ⅱ (1) ウ (ア)				○	○			69.4	0.4
	(2)	① コケ植物のふえ方と体のつくりの特徴を選ぶ。	コケ植物の特徴について理解している。			Ⅱ (1) ウ (イ)				○	○			75.4	0.8
		② コケ植物がよく見られる場所を選ぶ。	コケ植物の生活場所について、コケ植物の特徴と地図にある情報を基に指摘できる。			Ⅱ (1) ア (ア), Ⅱ (1) ウ (イ)		○				○		80.0	2.9
	(3)	イチヨウのような植物のなかまの名前とその特徴を書く。	裸子植物の特徴について説明できる。			Ⅱ (1) ウ (ア), Ⅱ (1) イ (ア)		○				○		37.3	8.8
4	(1)	図1で示された気体を集める方法の名前を書く。	気体の捕集法についての技能を身に付けている。			Ⅰ (2) ア (イ)				○		○		84.8	0.4
	(2)	水素を発生させるための物質を選ぶ。	水素を発生させるために用いる物質を指摘できる。			Ⅰ (2) ア (イ)				○		○		40.4	0.6
	(3)	1本目の試験管で水素の爆発が起こらなかった理由を書く。	実験方法を改善するために、予想通りの結果が得られなかった原因を説明できる。			Ⅰ (2) ア (イ)		○				○		35.7	16.1
5	(1)	ロウを液体から固体にしたときの、体積と質量の変化を選ぶ。	ロウの状態変化における体積と質量の変化について理解している。			Ⅰ (2) ウ (ア)				○	○			59.5	0.6
	(2)	融点と沸点の表から、80℃のときに液体である物質を選ぶ。	融点と沸点についての一覧表から、任意の温度での物質の状態を判断できる。			Ⅰ (2) ウ (イ)		○				○		24.6	8.2
6	(1)	質量パーセント濃度を求める式を選ぶ。	特定の質量パーセント濃度の水溶液をつくるための技能を身に付けている。			Ⅰ (2) イ (ア)				○		○		43.2	1.0
	(2)	① 冷やしたときに結晶が多く出てくる水溶液を選ぶ。	溶解度曲線を基に、結晶が多くできた水溶液を指摘できる。			Ⅰ (2) イ (イ)				○		○		42.6	1.0
		② 2種類の塩化ナトリウム水溶液を区別する方法を選ぶ。	溶解度曲線を基に、塩化ナトリウム水溶液から塩化ナトリウムの結晶をとり出す方法を指摘できる。			Ⅰ (2) イ (イ)		○				○		52.7	1.0
7	(1)	水が氷になるときの体積と密度の変化を選ぶ。	水は氷になると体積は増えるが、密度は小さくなることを理解している。			Ⅰ (2) ア (ア), Ⅰ (2) ウ (ア)				○	○			66.3	0.9
	(2)	① ビート板が水に浮くことから、ビート板がどのプラスチックでできているかを選ぶ。	水の密度より、密度が小さい物質は水に浮くという知識を使って、ビート板のプラスチックの種類を特定できる。			Ⅰ (2) ア (ア)		○				○		67.5	8.5
		② 密度を求め、ビート板のプラスチックの種類を選ぶ。	求めた密度からプラスチックの種類を特定できる。			Ⅰ (2) ア (ア)		○				○		46.2	9.4
8	(1)	① 境界面で屈折した光の進む方向を選ぶ。	光の入射角と屈折角の関係について理解している。			Ⅰ (1) ア (ア)					○	○		45.3	1.2
		② 光の入射角が一定の角度以上になると、屈折した光が空気中に出なくなる現象の名前を書く。	光の全反射について理解している。			Ⅰ (1) ア (ア)					○		○	39.6	13.5
	(2)	虫眼鏡で遠くのものを見たときの像の見え方を選ぶ。	物体と凸レンズの位置関係から、像の種類を判断し、見え方を考察できる。			Ⅰ (1) ア (イ)		○				○		44.6	1.4
9	(1)	実験の結果をもとに、音の速さを求める。	音の速さを求めることができる。			Ⅰ (1) ア (ウ)				○	○			52.7	1.9
	(2)	実験の結果をもとに、音の速さと、音の大きさや高低との関係について適当なものを選ぶ。	実験の結果を基に、音の速さと、音の大きさや高低との関係について考察できる。			Ⅰ (1) ア (ウ)		○				○		39.5	1.7

【設問別正答率】中学校調査（第2学年：理科）

大問	小問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点			問題形式			高知県	
				エネルギー	粒子	生命	地球	現科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然現象についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)
1	(1)	火山の形から、マグマの粘り気と噴火による溶岩の特徴を選ぶ。	火山の形と、マグマの粘り気との関係について理解している。				Ⅱ (2) ア (ア)			○	○			66.7	0.2
	(2)	深成岩のつくりを表す図を選ぶ。	マグマの冷え方と、火成岩の組織との関係について理解している。				Ⅱ (2) ア (ア)			○	○			49.2	0.2
2	(1)	初期微動をグラフから読みとり、初期微動継続時間の長さを選ぶ。	初期微動継続時間の長さを読みとることができる。				Ⅱ (2) ア (イ)			○	○			57.0	0.2
	(2)	震度とマグニチュードについての正しい説明を選ぶ。	震度とマグニチュードについて理解している。				Ⅱ (2) ア (イ)			○	○			39.6	0.3
	(3)	P波とS波についての正しい説明を選ぶ。	P波とS波について理解している。				Ⅱ (2) ア (イ)			○	○			47.1	0.3
3	(1)	火山灰が押し固められてできる岩石を選ぶ。	火山灰が堆積しておし固められてきた岩石が、凝灰岩であることを理解している。				Ⅱ (2) イ (ア)			○	○			47.8	0.3
	(2)	柱状図から地層を堆積した順に並び替える。	各地点の柱状図について、地層のつながりを基に分析して解釈し、各層の堆積した順序を考察できる。				Ⅱ (2) イ (ア)	○			○			37.5	3.2
	(3)	柱状図を読みとり、火山灰の層の深さを選ぶ。	標高を基に整理した柱状図を手がかりに、柱状図のない地点の火山灰層の深さを推測できる。				Ⅱ (2) イ (ア)	○			○			23.6	0.7
4	(1)	炭酸水素ナトリウムの分解で、試験管の口を少し低くして加熱する理由についての説明にあてはまる言葉を選ぶ。	炭酸水素ナトリウムの分解で、試験管を加熱する際の安全で適切な方法を身に付けている。				Ⅰ (4) ア (ア)		○		○			37.1	0.5
	(2)	炭酸水素ナトリウムの分解で、発生した気体とできた液体を選ぶ。	炭酸水素ナトリウムの分解で、生成される物質を指摘できる。				Ⅰ (4) ア (ア)		○		○			49.9	0.6
	(3)	1種類の物質が2種類以上の物質に分かれる化学変化の名前を書く。	1種類の物質が2種類以上の物質に分かれる化学変化が、分解であることについて理解している。				Ⅰ (4) ア (ア)			○		○		64.5	13.0
	(4)	ホットケーキがふくらむ理由を書く。	ホットケーキがふくらむ理由を、炭酸水素ナトリウムの分解による気体の発生と関係付けて説明できる。				Ⅰ (4) ア (ア)		○			○		31.8	22.7
5	(1)	物質が酸素と化合する化学変化の名前を書く。	物質が酸素と化合する化学変化が、酸化であることについて理解している。				Ⅰ (4) イ (イ)			○		○		74.1	9.4
	(2)	加熱をくり返すと加熱後の物質の質量の値が一定になった理由を選ぶ。	実験の結果のグラフから、加熱後の物質の質量の変化について、適切に考察できる。				Ⅰ (4) ウ (イ)		○		○			77.4	0.5
	(3)	銅と化合した酸素の質量を書く。	実験の結果を基に、銅の質量と化合する酸素の質量の関係を見だし、化合する酸素の質量を求めることができる。				Ⅰ (4) ウ (イ)		○			○		30.5	11.8
6	(1)	化学反応と熱が発生したようすを、モデル図を使って表したものを選ぶ。	化学反応式のもつ意味を基に、発生する熱も含めた化学反応の様子について、モデルで表すことができる。				Ⅰ (4) イ (ウ)		○		○			53.0	0.5
	(2)	熱の発生と鉄粉の量の関係を調べるための、物質の量の組み合わせを選ぶ。	熱の発生と鉄粉の量の関係を調べるための対照実験を計画できる。				Ⅰ (4) イ (ウ), Ⅰ (4) ウ (イ)		○		○			54.9	0.8
	(3)	実験の結果のグラフから読みとれることを選ぶ。	グラフを基に、鉄粉と反応する酸素の量を変えたときの発熱による温度と時間の変化を、読みとることができる。				Ⅰ (4) イ (ウ), Ⅰ (4) ウ (イ)		○		○			75.1	0.8
7	(1)	核を染めるための染色液を選ぶ。	細胞の観察に関する技能を身に付けている。				Ⅱ (3) ア (ア)			○	○			63.2	0.5
	(2)	動物の細胞膜にあたるつくりを、植物の細胞のつくりから選ぶ。	植物と動物の細胞のつくりについて理解している。				Ⅱ (3) ア (ア)			○	○			70.1	0.7
	(3)	アイスプラントの水泡が、植物の細胞のつくりのどの部分に相当するかを選ぶ。	植物の細胞についての知識を活用し、アイスプラントの水泡と、植物の細胞にある液胞を関係付けて考察できる。				Ⅱ (3) ア (ア)	○			○			59.6	0.9
8	(1)	ハチュウ類と鳥類に共通する特徴を選ぶ。	ハチュウ類と鳥類の特徴について理解している。				Ⅱ (3) ウ (ア)			○	○			58.7	0.8
	(2)	骨格のつくりの比較から考えられることを選ぶ。	相同器官について理解している。				Ⅱ (3) エ (ア)			○	○			50.1	1.3
	(3)	進化といえる現象を選ぶ。	進化の例を指摘できる。				Ⅱ (3) エ (ア)			○	○			82.1	1.3
9	(1)	だ液がデンプンを分解する実験の考察にあてはまる物質を書く。	ヨウ素デンプン反応及びベネジクト液の反応の結果から、だ液のはたらきによるデンプンの変化を指摘できる。				Ⅱ (3) イ (ア)	○			○			33.1	11.3
	(2)	だ液のタンパク質に対するはたらきを調べる実験の考察にあてはまる文を書く。	実験の結果を基に、課題に正対した考察ができる。				Ⅱ (3) イ (ア)	○				○		42.1	17.8
10	(1)	力の大きさとばねののびを正しく表したグラフを選ぶ。	実験の結果をグラフ化し、適切な測定値の処理の仕方を身に付けている。				Ⅰ (1) イ (ア)		○		○			81.0	1.6
	(2)	力の大きさから、ばねののびを求める式を選ぶ。	加えた力の大きさとばねののびとの関係から、ばねののびを求める式を考察できる。				Ⅰ (1) イ (ア)		○		○			52.0	1.8
	(3)	浮力の大きさについての正しい説明を選ぶ。	ばねを用いた浮力の実験の結果について、物体を沈めた深さや体積に着目して分析し、解釈することができる。				Ⅰ (1) イ (ア), Ⅰ (1) イ (ア)	○			○			39.6	1.9

【中学校理科における成果と課題】

	第1学年			第2学年		
	領域	問題番号	出題のねらい	領域	問題番号	出題のねらい
成果	生	①(1) 78.6%	ヨウ素デンプン反応の結果から、植物に日光が当たると、デンプンができることを指摘すること	粒	⑤(2) 77.4%	実験の結果のグラフから、加熱後の物質の質量の変化について、適切に考察すること
	生	③(2)② 80.0%	コケ植物の生活場所について、コケ植物の特徴と地図にある情報を基に指摘すること	生	⑧(3) 82.1%	進化の例を指摘すること
	粒	④(1) 84.8%	気体の捕集法についての技能を身に付けること	工	⑩(1) 81.0%	実験の結果をグラフ化し、適切な測定値の処理の仕方を身に付けること
課題	生	②(1)② 32.4%	葉の維管束のつくりとはたらきについて理解すること	地	③(3) 23.6%	標高を基に整理した柱状図を手がかりに、柱状図のない地点の火山灰層の深さを推測すること
	粒	④(3) 35.7%	実験方法を改善するために、予想通りの結果が得られなかった原因を説明すること	粒	④(4) 31.8%	ホットケーキがふくらむ理由を、炭酸水素ナトリウムの分解による気体の発生と関係付けて説明すること
	粒	⑤(2) 24.6%	融点と沸点についての一覧表から、任意の温度での物質の状態を判断すること	粒	⑤(3) 30.5%	実験の結果を基に、銅の質量と化合する酸素の質量の関係を見だし、化合する酸素の質量を求めること

【領域・内容】 工：エネルギー、粒：粒子、生：生命、地：地球

今後さらに重点となる指導改善のポイント

ポイント1

獲得した知識や概念、新たな情報を相互に関係付けながら、自然や日常生活等における事物・現象を捉えて考察し、適切に表現することができるようにする指導の充実

- 考察したことなどを説明する際には、根拠を示し、事実と考えを区別して表現させることが大切です。
- 課題解決に必要な知識・技能を目的意識をもって習得させるとともに、学習したことと日常生活や社会との関連を図り、理科を学ぶ意義や有用性を実感する活動を設定することが大切です。

ポイント2

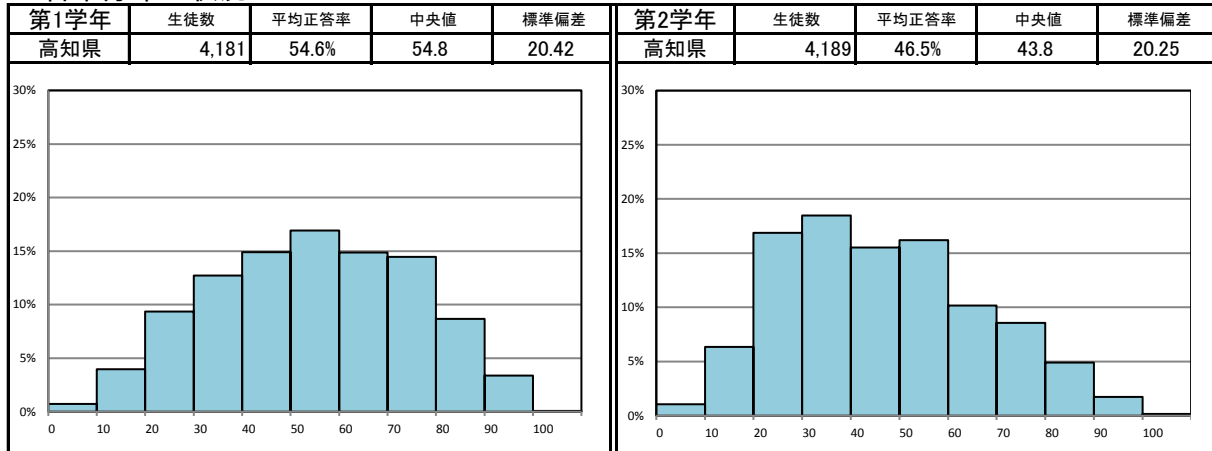
考察したことや実験の方法などの妥当性を検討して、改善することができるようにする指導の充実

- 自分の考えをもち、意見交換したり、科学的な根拠に基づいて議論したりすることなどを通して、生徒自身が自分の考えをより妥当なものに改善できるようにすることが大切です。
- 考察の場面での話し合いでは、予想や仮説と観察、実験の結果が一致しているかどうか、考えの根拠となる事実を適切に捉えているか、課題に正対した考察となっているかなどの視点を明示することも大切です。
- 個人で考えた観察、実験の計画について、見落としている要因はないかなどグループで意見交換や、検討して改善したり、実験の結果を方法も含めて吟味し、実験の方法を再度検討して改善したりする学習活動などを設定するとよいでしょう。
- 学習を振り返ったとき、思考の過程が分かり、生徒自身が学びの深まりや変容を自覚できるよう、授業の各場面において、ノートなどに記録させることが大切です。

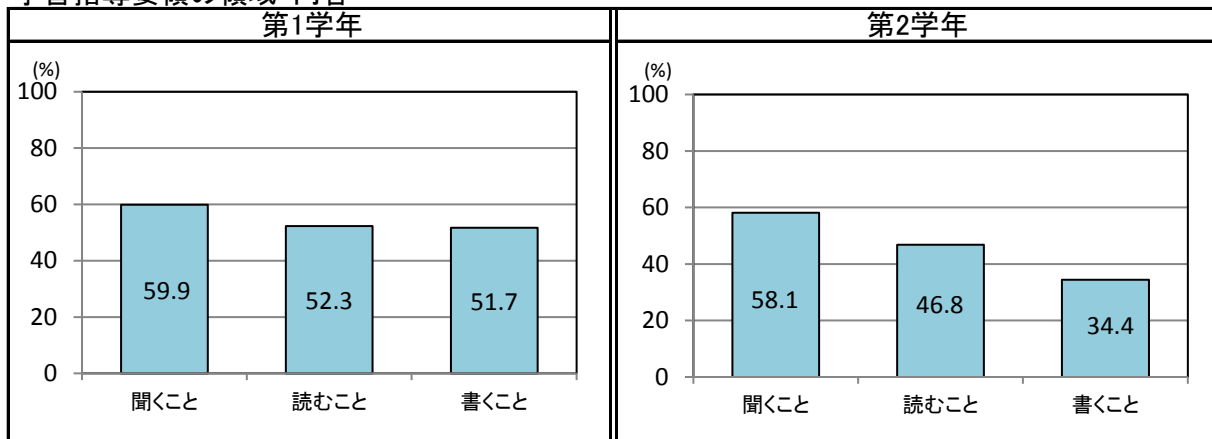
(8) 中学校外国語（英語）

【分類・区別の状況】

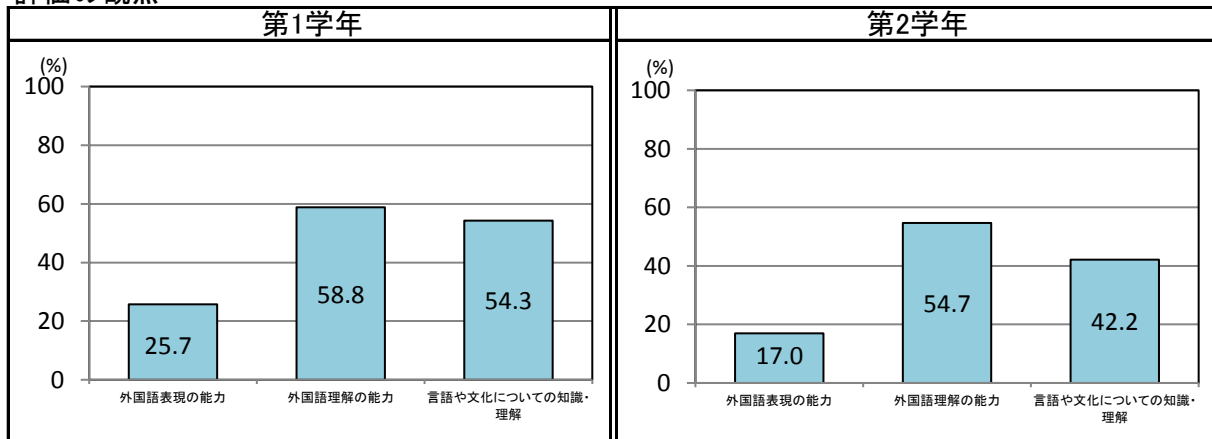
正答率分布の状況



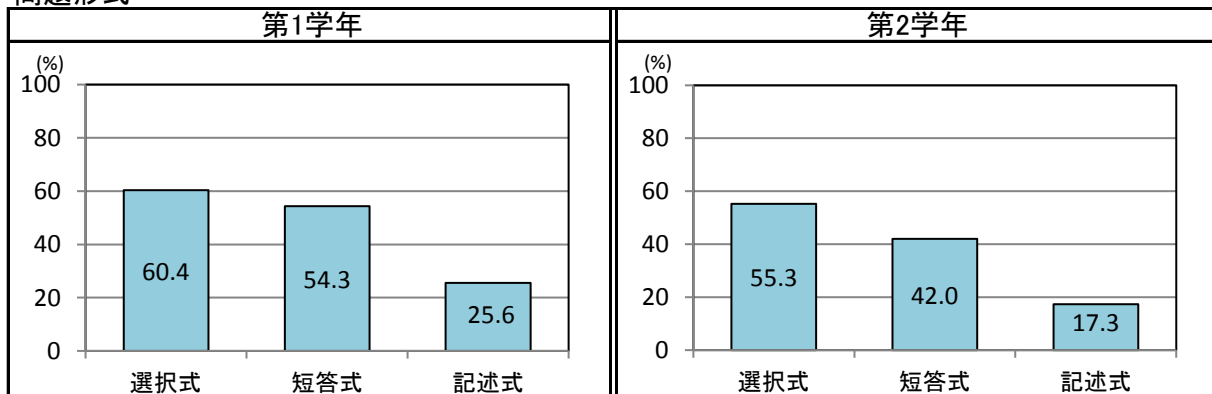
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



【設問別正答率】中学校調査（第1学年：外国語）

大問	小問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等			評価の観点		問題形式			高知県		
				聞くこと	読むこと	書くこと	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語・文化についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)
1	(1)	英文 (Yumi swims at seven.) を聞き取り、適切なものを選ぶ。	英語 (モノローグ) を聞いて、基本的な英語の音声の特徴を捉え、情報を正確に聞き取ることができる。(動作と時刻)					○	○			89.6	0.1	
	(2)	英文 (It's August 2.) を聞き取り、適切なものを選ぶ。	英語 (モノローグ) を聞いて、基本的な英語の音声の特徴を捉え、情報を正確に聞き取ることができる。(物と数)					○	○			65.3	0.2	
	(3)	英文 (I have a cat and two dogs.) を聞き取り、適切なものを選ぶ。	英語 (モノローグ) を聞いて、基本的な英語の音声の特徴を捉え、情報を正確に聞き取ることができる。(物と数)					○	○			98.1	0.1	
2	(1)	対話を聞いて、適切に応じているもの (Thank you.) を選ぶ。	質問や依頼などの対話 (ダイアログ) を聞いて、適切に応じていることができる。(物を差し出されて)					○	○			82.5	0.4	
	(2)	対話を聞いて、適切に応じているもの (I don't play it.) を選ぶ。	質問や依頼などの対話 (ダイアログ) を聞いて、適切に応じていることができる。(あなたはどうかとたずねられて)					○	○			47.5	0.5	
	(3)	対話を聞いて、適切に応じているもの (No, he's my brother.) を選ぶ。	質問や依頼などの対話 (ダイアログ) を聞いて、適切に応じていることができる。(友達かたずねられて)					○	○			27.2	0.6	
3	(1)	スピーチの中の <I play tennis with my brother. Koji. He's a good tennis player.> を聞き取り、適切なものを選ぶ。	まとまりのある英文の概要や要点を適切に聞き取ることができる。(テニスが上手な人)					○	○			71.1	0.2	
	(2)	スピーチの中の <I watch TV with my family. We watch a soccer game.> を聞き取り、適切なものを選ぶ。	まとまりのある英文の概要や要点を適切に聞き取ることができる。(家族みんながしていること)					○	○			68.5	0.5	
	(3)	スピーチのテーマとして適切なものを選ぶ。	まとまりのある英文の概要や要点を適切に聞き取ることができる。(スピーチのテーマ)					○	○			41.2	0.7	
4		対話を聞いて、資料を基に適切な英文を書く。	対話 (ダイアログ) の内容を聞き取り、資料を基に適切に応じていることができる。						○			7.9	37.9	
5	(1)	① 対話文に入る適切な語句 (Where) を選ぶ。	「読むこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付けている。(Whereで始まる疑問文)					○	○			62.2	0.2	
		② 対話文に入る適切な語句 (Who) を選ぶ。	「読むこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付けている。(Whoで始まる疑問文)					○	○			66.5	0.3	
		③ 対話文に入る適切な語句 (Don't) を選ぶ。	「読むこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付けている。(否定の命令文)					○	○			43.9	1.3	
		④ 対話文に入る適切な語句 (doesn't) を選ぶ。	「読むこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付けている。(三人称単数現在の否定文)					○	○			46.5	4.2	
	(2)	① 対話文に入る適切な語句 (from) を書く。	「書くこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付け、単語を正しく書くことができる。(出身を表す前置詞)						○	○			78.4	7.1
		② 対話文に入る適切な語句 (study) を書く。	「書くこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付け、単語を正しく書くことができる。(勉強する)						○	○			42.7	13.2
6	(1)	英文の内容を読み取り、水族館の案内板を基に、その応答として適切なものを選ぶ。	日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる。					○	○			60.2	0.6	
	(2)	英文の内容を読み取り、時間割表を基に、その応答として最も適切なものを選ぶ。	日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる。					○	○			58.0	0.7	
	(3)	① グラフを基にした対話文を読み取り、その内容に合う適切な語の組み合わせを選ぶ。	日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる。					○	○			48.5	1.2	
		② グラフを基にした対話文を読み取り、その内容に合う適切な1文を選ぶ。	日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる。					○	○			48.1	1.6	
7	(1)	ジョンが送ったメールを読んで、その内容として適切なものを選ぶ。	まとまりのある文章を読んで、大切な部分などを正確に読み取ることができる。					○	○			70.7	0.8	
	(2)	ジョンが送ったメールを読んで、その内容として適切なものを選ぶ。	まとまりのある文章を読んで、大切な部分などを正確に読み取ることができる。					○	○			44.2	1.4	
	(3)	ジョンが送ったメールを読んで、ジョンが伝えたかったこととして適切なものを選ぶ。	まとまりのある文章を読んで、話の概要や要点を読み取ることができる。					○	○			69.0	3.3	
	(4)	ジョンが送ったメールの内容を踏まえた返事に当てはまる語句 (has) を書く。	話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などを捉えることができる。					○	○			9.2	19.5	
8	(1)	<What do you play> の文の構成を理解し、正しい語順に並べて書く。	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くことができる。(Whatで始まる一般動詞の疑問文)					○	○			84.5	3.7	
	(2)	<They are my friends> の文の構成を理解し、正しい語順に並べて書く。	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くことができる。(主語が代名詞のbe動詞の文)					○	○			63.0	5.2	
	(3)	<Does she like animals> の文の構成を理解し、正しい語順に並べて書く。	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くことができる。(三人称単数現在の疑問文)					○	○			69.0	4.5	
	(4)	<Whose guitar is it> の文の構成を理解し、正しい語順に並べて書く。	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くことができる。(Whose + 名詞で始まる疑問文)					○	○			33.1	5.2	
9	(1)	対話文の内容を読み取り、何時ですかという内容の文を、適切に書く。	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くことができる。(現在の時刻をたずねる)					○	○			43.0	20.4	
	(2)	対話文の内容を読み取り、いくつかばんを持っているかという内容の文を、適切に書く。	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くことができる。(バッグの数をたずねる)					○	○			29.1	19.9	
10		自分が一番好きなものを紹介する文を、まとまりのある15語以上で書く。	与えられたテーマについて自分の考えや気持ちなどを整理し、読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くことができる。					○	○			22.4	15.7	

※1 読むことに必要な表現、文法についての知識を問う内容
 ※2 書くことに必要な表現、文法についての知識を問う内容

【設問別正答率】中学校調査（第2学年：外国語）

大問	小問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等			評価の観点			問題形式			高知県		
				聞くこと	読むこと	書くこと	外国語表現の能力	外国語理解の能力	知識・理解・文化の活用	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	
1	(1)	英文 (Jane bought a bag yesterday.) を聞き取り、適切なものを選ぶ。	英語（モノローグ）を聞いて、基本的な英語の音声の特徴を捉え、情報を正確に聞き取ることができる。（動作）					○		○			95.2	0.2	
	(2)	英文 (My father was making dinner when I came home.) を聞き取り、適切なものを選ぶ。	英語（モノローグ）を聞いて、基本的な英語の音声の特徴を捉え、情報を正確に聞き取ることができる。（様子）					○		○			63.7	0.3	
	(3)	英文 (There are two cats under the desk.) を聞き取り、適切なものを選ぶ。	英語（モノローグ）を聞いて、基本的な英語の音声の特徴を捉え、情報を正確に聞き取ることができる。（物と位置）					○		○			69.4	0.3	
2	(1)	対話を聞いて、適切にしているもの (We can walk there.) を選ぶ。	質問や依頼などの対話（ダイアログ）を聞いて、適切に反応することができる。（行く手段をたずねられて）					○		○			29.1	0.8	
	(2)	対話を聞いて、適切にしているもの (I think they are Tom's.) を選ぶ。	質問や依頼などの対話（ダイアログ）を聞いて、適切に反応することができる。（だれのものかとたずねられて）					○		○			43.9	0.7	
	(3)	対話を聞いて、適切にしているもの (Of course, I can.) を選ぶ。	質問や依頼などの対話（ダイアログ）を聞いて、適切に反応することができる。（依頼をされて）					○		○			59.2	0.6	
3	(1)	スピーチの中の <I'm a member of the soccer team> を聞き取り、適切なものを選ぶ。	まとまりのある英文の概要や要点を適切に聞き取ることができる。（所属している部）					○		○			90.4	0.3	
	(2)	スピーチの中の <I often read books in the library on weekends.> を聞き取り、適切なものを選ぶ。	まとまりのある英文の概要や要点を適切に聞き取ることができる。（週末にすること）					○		○			49.9	0.5	
	(3)	スピーチのテーマとして適切なものを選ぶ。	まとまりのある英文の概要や要点を適切に聞き取ることができる。（スピーチのテーマ）					○		○			51.9	0.5	
4		対話を聞いて、資料を基に適切な英文を書く。	対話（ダイアログ）の内容を聞き取り、資料を基に適切に反応することができる。			イ			○		○		28.9	18.7	
5	(1)	① 対話文に入る適切な語句 (were) を選ぶ。	「読むこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付けている。（be動詞の過去形）						○	○			44.4	0.3	
		② 対話文に入る適切な語句 (for) を選ぶ。	「読むこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付けている。（be famous for ～）						○	○			37.0	0.6	
		③ 対話文に入る適切な語句 (talking) を選ぶ。	「読むこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付けている。（動名詞）							○	○			48.4	0.8
		④ 対話文に入る適切な語句 (have) を選ぶ。	「読むこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付けている。（don't have to ～）							○	○			54.0	3.4
	(2)	① 対話文に入る適切な語句 (leave) を書く。	「書くこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付け、単語を正しく書くことができる。（出発する）							○		○		9.3	20.6
		② 対話文に入る適切な語句 (October) を書く。	「書くこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付け、単語を正しく書くことができる。（10月）							○		○		29.5	23.3
		③ 対話文に入る適切な語句 (tired) を書く。	「書くこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付け、単語を正しく書くことができる。（疲れた）						○		○		26.0	18.6	
6	(1)	メールの内容を読み取り、その返信として適切なものを選ぶ。	電子メールなどの文章から書き手の意向を理解し、適切に反応することができる。					○		○			57.0	0.6	
	(2)	英文の内容を読み取り、美術館の案内を基に、タカシの発言として適切なものを選ぶ。	日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる。					ウ					33.8	0.7	
	(3)	① グラフを基にした対話文を読み取り、その内容に合う適切な語句を選ぶ。	日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる。						ウ		○			56.4	0.7
		② グラフを基にした対話文を読み取り、その内容に合う適切な1文を選ぶ。	日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる。						ウ		○			50.3	1.1
7	(1)	マリの放送文を読んで、その内容として適切なものを選ぶ。	まとまりのある文章を読んで、大切な部分などを正確に読み取ることができる。					ウ		○			56.5	1.3	
	(2)	マリの放送文を読んで、その内容として適切なものを選ぶ。	まとまりのある文章を読んで、大切な部分などを正確に読み取ることができる。					ウ		○			76.4	1.1	
	(3)	マリの放送文を読んで、マリが伝えなかったこととして適切なものを選ぶ。	まとまりのある文章を読んで、話の概要や要点を読み取ることができる。					ウ		○			39.0	2.3	
	(4)	マリの放送文の内容を踏まえ、ジュディとコウジの対話として適切な文を書く。	話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考えなどを捉えることができる。					オ	ウ		○		8.3	34.7	
8	(1)	<主語+動詞+間接目的語+名詞>を使った表現を理解し、正しい語順に並べて書く。	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くことができる。（目的語を2つとる文）						イ		○		44.5	6.3	
	(2)	<疑問詞Whereで始まるbe going to～>を使った表現を理解し、正しい語順に並べて書く。	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くことができる。（Whereで始まるbe going toの疑問文）						イ		○		71.7	5.4	
	(3)	<to不定詞 動詞としての用法>を使った表現を理解し、正しい語順に並べて書く。	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くことができる。（不定詞をきんだ文）						イ		○		51.1	6.3	
	(4)	<接続詞because+主語+動詞～>を使った表現を理解し、正しい語順に並べて書く。	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くことができる。（接続詞becauseの文）						イ		○		61.9	6.5	
9	(1)	対話文の内容を読み取り、何をしていたのかという内容の文を、適切に書く。	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くことができる。（過去の進行中の動作をたずねる）						イ	○		○	11.9	27.0	
	(2)	対話文の内容を読み取り、いつ行くのかという内容の文を、適切に書く。	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くことができる。（未来表現を使って時期をたずねる）						イ	○		○	12.3	31.1	
10		初めて日本を訪れる外国人観光客向けに、「日本らしい土産」を紹介する記事を30語以上で書く。	与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことができる。						オ	○		○	25.4	31.2	

※1 読むことに必要な表現、文法についての知識を問う内容
 ※2 書くことに必要な表現、文法についての知識を問う内容

【中学校外国語（英語）における成果と課題】

	第1学年			第2学年		
	領域	問題番号	出題のねらい	領域	問題番号	出題のねらい
成果	聞	①(1) 89.6%	英語（モノローグ）を聞いて、基本的な英語の音声の特徴を捉え、情報を正確に聞き取ること（動作と時刻）	聞	①(1) 95.2%	英語（モノローグ）を聞いて、基本的な英語の音声の特徴を捉え、情報を正確に聞き取ること（動作）
		(3) 98.1%	英語（モノローグ）を聞いて、基本的な英語の音声の特徴を捉え、情報を正確に聞き取ること（物と数）		③(1) 90.4%	まとまりのある英文の概要や要点を適切に聞き取ること（所属している部）
	書	⑧(1) 84.5%	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと（What で始まる一般動詞の疑問文）	読	⑦(2) 76.4%	まとまりのある文章を読んで、大切な部分などを正確に読み取ること
課題	聞	④ 7.9%	対話（ダイアログ）の内容を聞き取り、資料を基に適切に応じること	聞	⑤(2) ①9.3%	「書くこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付け、単語を正しく書くこと（出発する）
	読	⑦(4) 9.2%	話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などを捉えること	読	⑦(4) 8.3%	話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などを捉えること
	書	⑩ 22.4%	与えられたテーマについて自分の考えや気持ちなどを整理し、読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと	書	⑩ 25.4%	与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くこと

【領域・内容】聞：聞くこと、書：書くこと、読：読むこと

今後さらに重点となる指導改善のポイント

ポイント1

コミュニケーションを行う目的・場面・状況の設定と言語活動の繰り返し

○コミュニケーションを行う目的・場面・状況を設定したうえで、伝えたい内容と伝えるための言語材料、その使用場面等を意識して、生徒が自分の考えや気持ちを伝え合う活動を行うことが大切です。言語活動を行う際には、単にペアで単語やパターン化された会話を反復練習するだけでなく、伝える相手を変えたり、話題を変えたりして取り組みましょう。

ポイント2

「聞くこと」「読むこと」の指導の工夫と「書くこと」と統合した言語活動の充実

○「聞くこと」の指導では、聞く際に、状況や目的を明示し、どういう情報が必要かを考えさせたうえで、その部分に集中して聞き取らせる活動を行うことが大切です。また、「読むこと」の指導では、まとまりのある文章を最初から最後まで通して読む機会をできるだけたくさん設定するとよいでしょう。文の一語一語をたどる読みから脱却し、意味のまとまりごとに英文を捉えさせることが必要です。そして、聞いたり読んだりした後、文章全体の内容を整理し、数文でまとめて書くなど「書くこと」の活動につなげることに取り組みましょう。